

下野市地域福祉計画
【住民意識調査報告書】

平成 23 年 3 月

下 野 市

— 目次 —

I 調査の概要	2
1. 調査の目的	2
2. 調査項目	2
3. 調査設計	2
4. 回収結果	2
5. 報告書の見方	3
II 調査の結果	4
1. あなたご自身について	5
2. 「福祉」について	11
3. 「地域」との関わりについて	14
4. 地域活動やボランティア活動などについて	30
5. 福祉サービスなどについて	37
6. 保健福祉施策などについて	43
7. 自由回答	47

I 調査の概要

1. 調査の目的

下野市では、誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちづくりのため、市民・関係機関、団体と行政が連携し、地域住民がお互いに助け合い、支え合うことのできる仕組みづくりをめざして、「下野市地域福祉計画」の策定に取り組んでいます。

本調査は、市民の福祉観、地域活動への参加状況などの実態を把握するとともに、市民のご意見、ご提言を広くお聞きし、地域福祉計画に反映することを目的として実施しました。

2. 調査項目

- 1 あなたご自身について
- 2 「福祉」について
- 3 「地域」との関わりについて
- 4 地域活動やボランティア活動などについて
- 5 福祉サービスなどについて
- 6 保健福祉施策などについて

3. 調査設計

- 1 調査時期 : 平成 22 年 8 月 19 日～平成 22 年 9 月 6 日
- 2 調査地域 : 下野市全域
- 3 調査対象者 : 下野市内在住の 18 歳以上の市民
- 4 抽出法 : 住民基本台帳から、18 歳以上の市民を対象に無作為に抽出
- 5 調査方法 : 調査票による本人記入方式、郵送配布・郵送回収による郵送調査法

4. 回収結果

配布数	回収数	有効回収数	有効回収率
2,000 票	778 件	777 件	38.9%

※有効回収数：回収数 778 件より無効票の 1 件を引いたもの

※有効回収率：有効回収数／配布数

5. 報告書の見方

- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 質問文末尾及び図表中に記されている「SA」は単一回答の設問、「MA」は複数回答の設問を表しています。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。

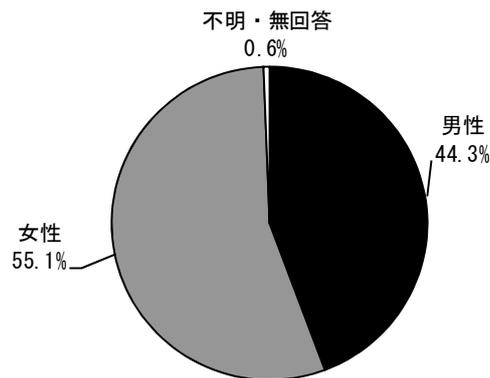
II 調査の結果

1. あなたご自身について

問1 あなたの性別はどちらですか。(SA)

性別については、「男性」が 44.3%、「女性」が 55.1%となっており、女性の方が多くなっています。

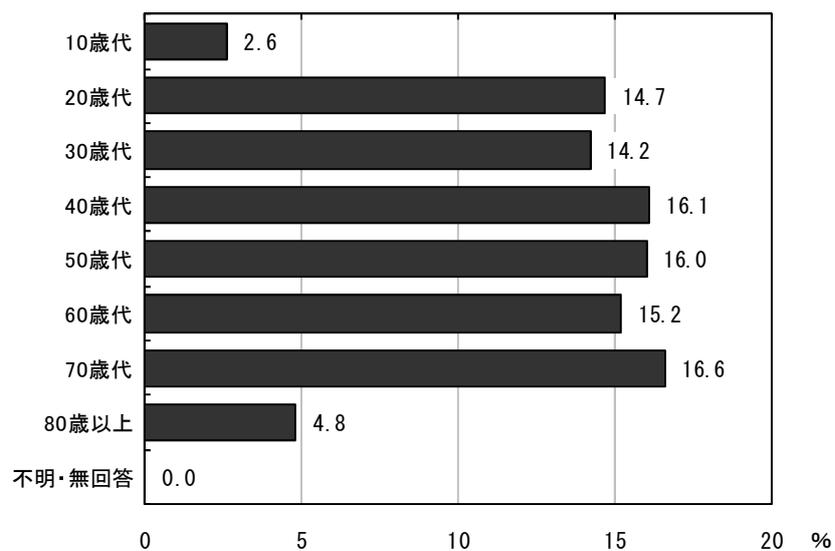
(SA) n=777



問2 あなたの年代はどれですか。(SA)

年代については、「70 歳代」が 16.6%と最も高く、次いで「40 歳代」が 16.1%、「50 歳代」が 16.0%となっています。

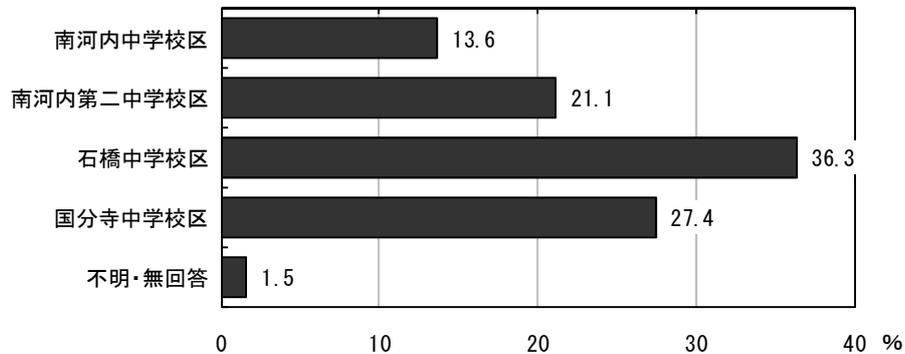
(SA) n=777



問3 あなたが住んでいる中学校区は次のどれですか。(SA)

住んでいる地区については、「石橋中学校区」が 36.3%と最も高く、次いで「国分寺中学校区」が 27.4%、「南河内第二中学校区」が 21.1%となっています。

(SA) n=777



■年代別 × 問3

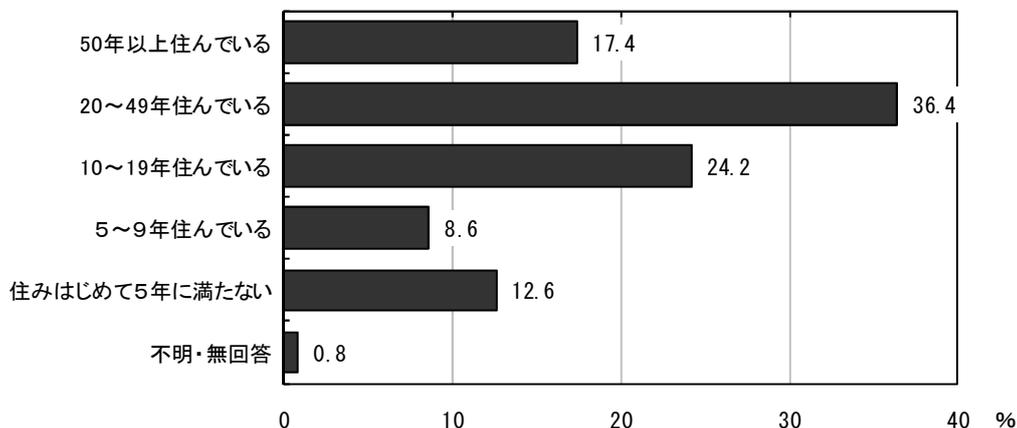
地区別に見ると、南河内第二中学校区で、「40 歳代」が最も高く、他の3地区では「70 歳代」が高く、石橋中学校区で「60 歳代」が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	不明・無回答
南河内中学校区	106 100.0	2 1.9	11 10.4	12 11.3	13 12.3	21 19.8	17 16.0	21 19.8	9 8.5	-
南河内第二中学校区	164 100.0	8 4.9	31 18.9	21 12.8	35 21.3	29 17.7	17 10.4	19 11.6	4 2.4	-
石橋中学校区	282 100.0	4 1.4	38 13.5	41 14.5	46 16.3	43 15.2	48 17.0	48 17.0	14 5.0	-
国分寺中学校区	213 100.0	6 2.8	31 14.6	34 16.0	30 14.1	31 14.6	35 16.4	36 16.9	10 4.7	-

問4 あなたの世帯は現在の地区（問3で回答された地区）に何年住んでいますか。（SA）

現在の地区に何年住んでいるかについては、「20～49年住んでいる」が36.4%と最も高く、次いで「10～19年住んでいる」が24.2%、「50年以上住んでいる」が17.4%となっています。

(SA) n=777



■問4 × 年代別

年代別に見ると、20歳代や50歳代～70歳代は「20～49年住んでいる」が最も高く、10歳代や40歳代では「10～19年住んでいる」、30歳代では「住みはじめて5年に満たない」、80歳以上では「50年以上住んでいる」がそれぞれ最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	50年以上住 んでいる	20～49年住 んでいる	10～19年住 んでいる	5～9年住 んでいる	住みはじめて 5年に満 たない	不明・ 無回答
10歳代	20 100.0	- -	- -	17 85.0	1 5.0	2 10.0	- -
20歳代	114 100.0	- -	41 36.0	26 22.8	13 11.4	33 28.9	1 0.9
30歳代	110 100.0	1 0.9	33 30.0	20 18.2	20 18.2	36 32.7	- -
40歳代	125 100.0	- -	44 35.2	47 37.6	21 16.8	13 10.4	- -
50歳代	124 100.0	31 25.0	49 39.5	32 25.8	4 3.2	7 5.6	1 0.8
60歳代	118 100.0	33 28.0	61 51.7	19 16.1	2 1.7	3 2.5	- -
70歳代	129 100.0	43 33.3	49 38.0	23 17.8	6 4.7	4 3.1	4 3.1
80歳以上	37 100.0	27 73.0	6 16.2	4 10.8	- -	- -	- -

■問4×地区別

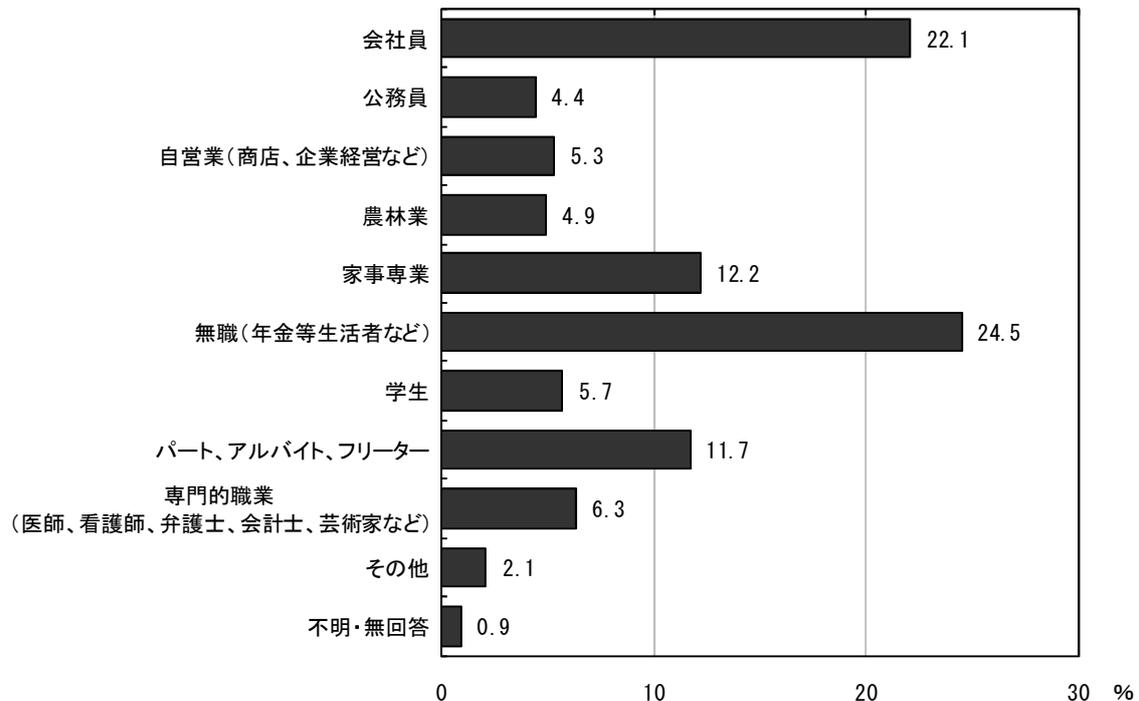
地区別に見ると、南河内第二中学校区で、「10～19年住んでいる」が最も高く、それ以外の3地区では「20～49年住んでいる」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	50年以上住 んでいる	20～49年住 んでいる	10～19年住 んでいる	5～9年住 んでいる	住みはじめて5年に満 たない	不明・ 無回答
南河内中学校区	106 100.0	37 34.9	39 36.8	10 9.4	9 8.5	11 10.4	- -
南河内第二中学校区	164 100.0	3 1.8	24 14.6	89 54.3	22 13.4	26 15.9	- -
石橋中学校区	282 100.0	60 21.3	134 47.5	40 14.2	23 8.2	23 8.2	2 0.7
国分寺中学校区	213 100.0	35 16.4	85 39.9	48 22.5	11 5.2	32 15.0	2 0.9

問5 あなたの職業は何ですか。(SA)

主な職業については、「無職（年金等生活者など）」が24.5%と最も高く、次いで「会社員」が22.1%、「家事専業」が12.2%となっています。

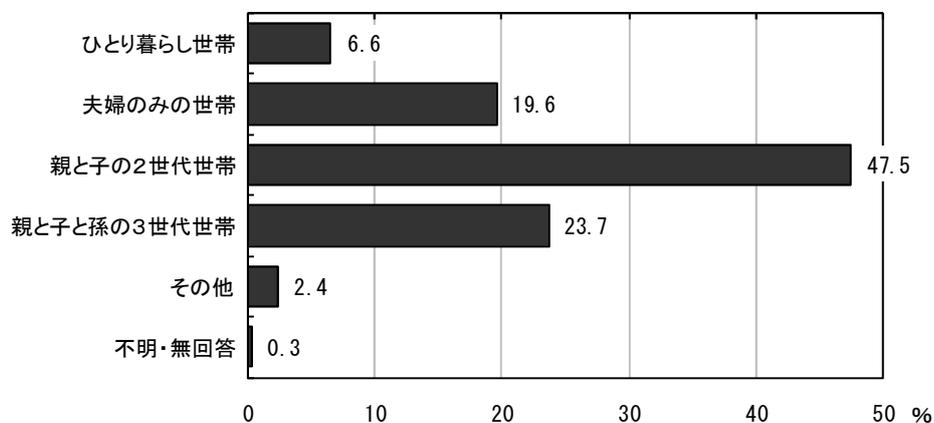
(SA) n=777



問6－(1) あなたの世帯の家族構成はどのようになっていますか。(SA)

世帯の家族構成については、「親と子の2世代世帯」が47.5%と最も高く、次いで「親と子と孫の3世代世帯」が23.7%、「夫婦のみの世帯」が19.6%となっています。

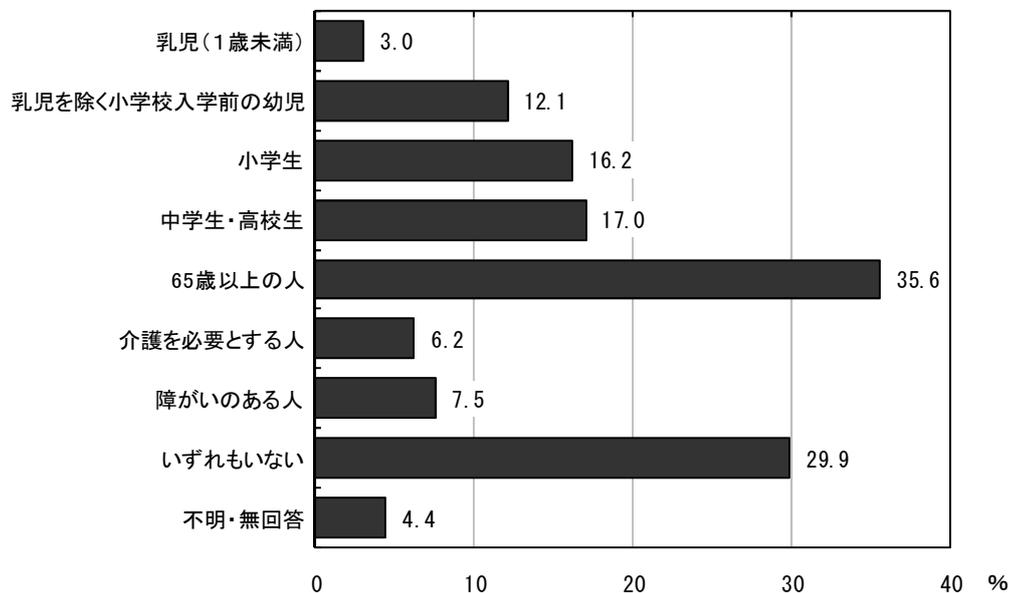
(SA) n=777



問6－(2) あなた自身や同居している家族の中に、次のような人はいますか。(MA)

ご自身や同居している家族に含まれる方としては、「65歳以上の人」が35.6%と最も高く、次いで「いずれもない」が29.9%、「中学生・高校生」が17.0%となっています。

(MA) n=777

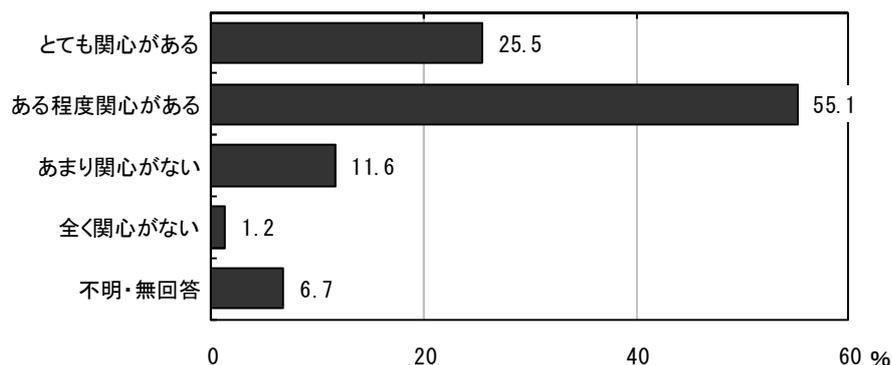


2. 「福祉」について

問7－(1) あなたは「福祉」に関心をおもちですか。(SA)

「福祉」への関心については、『関心がある』（「とても関心がある」と「ある程度関心がある」の合計）方は80.6%となっています。

(SA) n=777



問7－(1) ×年代別

年代別に見ると、すべての年代で「ある程度関心がある」が高くなっています。一方で、年代が若くなるほど「あまり関心がない」が高くなる傾向にあります。

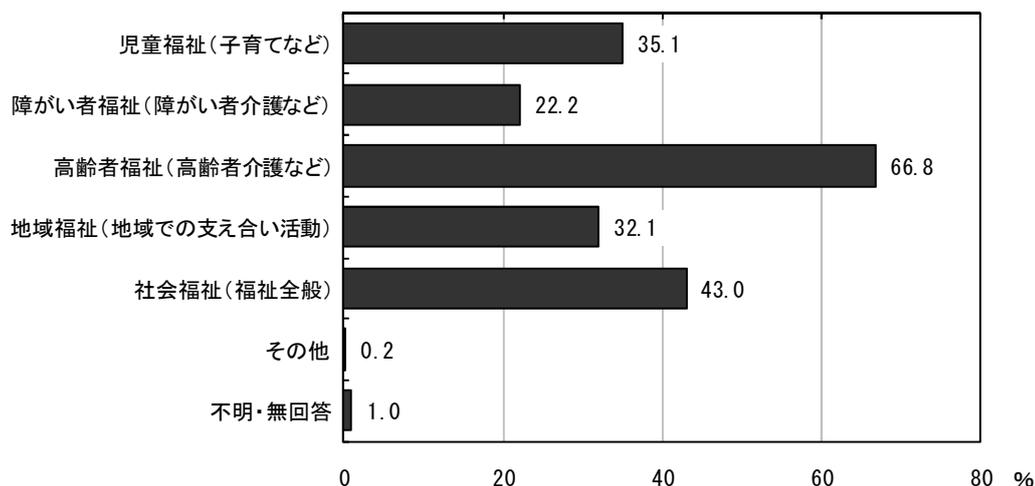
上段:度数 下段:%	合計	とても関心 がある	ある程度 関心がある	あまり関心 がない	全く関心 がない	不明・ 無回答
10歳代	20 100.0	4 20.0	8 40.0	8 40.0	-	-
20歳代	114 100.0	32 28.1	61 53.5	18 15.8	2 1.8	1 0.9
30歳代	110 100.0	17 15.5	67 60.9	21 19.1	-	5 4.5
40歳代	125 100.0	16 12.8	79 63.2	23 18.4	-	7 5.6
50歳代	124 100.0	24 19.4	78 62.9	13 10.5	2 1.6	7 5.6
60歳代	118 100.0	48 40.7	60 50.8	3 2.5	1 0.8	6 5.1
70歳代	129 100.0	46 35.7	58 45.0	3 2.3	2 1.6	20 15.5
80歳以上	37 100.0	11 29.7	17 45.9	1 2.7	2 5.4	6 16.2

(問7-(1)で「とても関心がある」「ある程度関心がある」を選んだ人におたずねします。)

問7-(2) 特にどの福祉の分野に関心をおもちですか。(MA)

特に関心がある福祉分野については、「高齢者福祉(高齢者介護など)」が66.8%と最も高く、次いで「社会福祉(福祉全般)」が43.0%、「児童福祉(子育てなど)」が35.1%となっています。

(MA) n=626



問7-(2) × 地区別

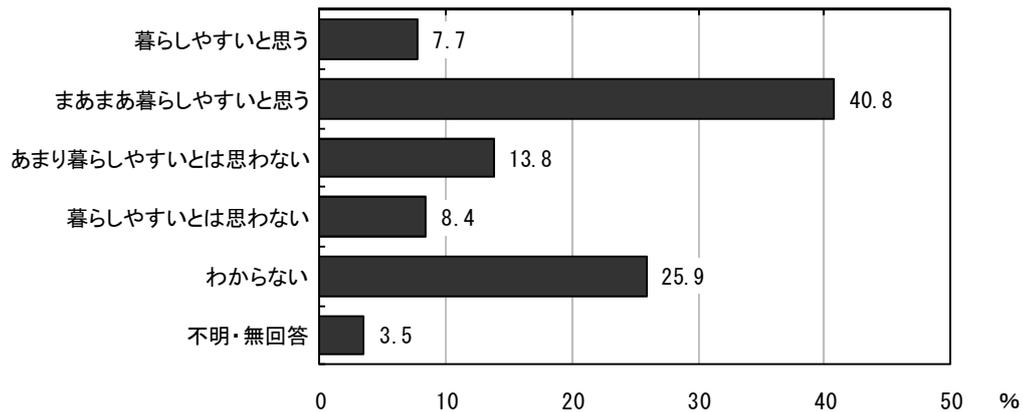
地区別に見ると、すべての地区で「高齢者福祉」が最も高くなっています。その他の福祉分野についてもすべての地区で同じような傾向になっていますが、南河内第二中学校区では、他の地区に比べて「児童福祉」と「障がい者福祉」がやや高くなっています。また、石橋中学校区では、「地域福祉」の関心がやや低くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	児童福祉 (子育てなど)	障がい者福祉 (障がい者介護など)	高齢者福祉 (高齢者介護など)	地域福祉 (地域での支え合い活動)	社会福祉 (福祉全般)	その他	不明・無回答
南河内中学校区	94 100.0	30 31.9	20 21.3	63 67.0	33 35.1	41 43.6	-	1 1.1
南河内第二中学校区	129 100.0	49 38.0	35 27.1	81 62.8	46 35.7	63 48.8	-	-
石橋中学校区	227 100.0	81 35.7	47 20.7	160 70.5	63 27.8	93 41.0	-	3 1.3
国分寺中学校区	168 100.0	56 33.3	33 19.6	110 65.5	57 33.9	67 39.9	1 0.6	2 1.2

問8 下野市は子どもや高齢者、障がいのある人などにとって暮らしやすいまちだと思いますか。(SA)

下野市が子どもや高齢者、障がいのある人などにとって暮らしやすいまちかどうかについては、「まあまあ暮らしやすいと思う」が40.8%と最も高く、次いで「わからない」が25.9%、「あまり暮らしやすいとは思わない」が13.8%となっています。

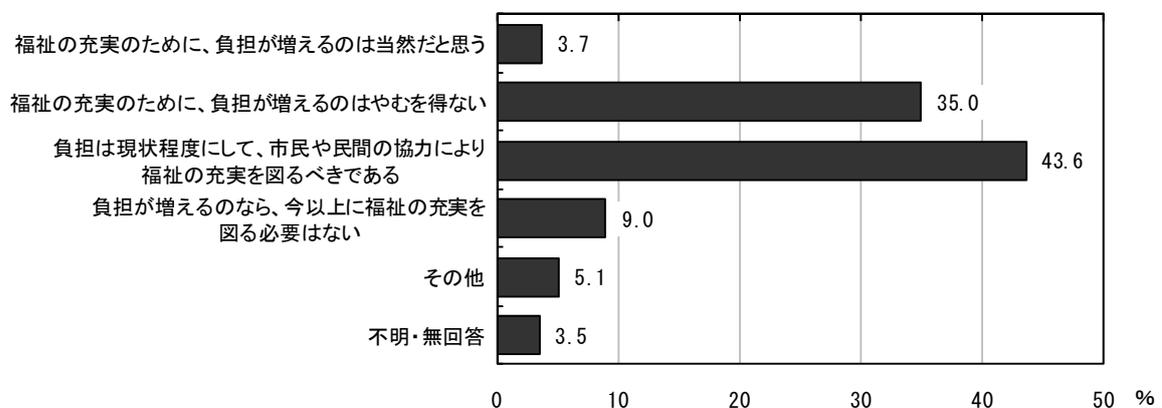
(SA) n=777



問9 「福祉」を充実させることと、その財源となる税金などの負担について、あなたのお考えに最も近いのは次のどの意見ですか。(SA)

「福祉」の充実とその財源となる税金などの負担については、「負担は現状程度にして、市民や民間の協力により福祉の充実を図るべきである」が43.6%と最も高く、次いで「福祉の充実のために、負担が増えるのはやむを得ない」が35.0%、「負担が増えるのなら、今以上に福祉の充実を図る必要はない」が9.0%となっています。

(SA) n=777

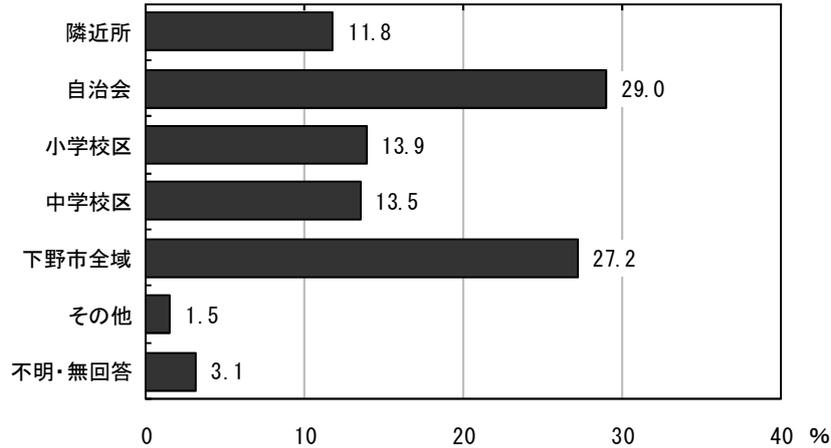


3. 「地域」との関わりについて

問 10 あなたが考える「地域」の範囲をお答えください。(SA)

「地域」だと考える範囲については、「自治会」が 29.0%と最も高く、次いで「下野市全域」が 27.2%、「小学校区」が 13.9%となっています。

(SA) n=777



■ 問 10×年代別

年代別に見ると、10歳代～20歳代や40歳代では「下野市全域」が最も高く、30歳代では「小学校区」、50歳代～70歳代は「自治会」、80歳以上では「隣近所」がそれぞれ最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	隣近所	自治会	小学校区	中学校区	下野市全域	その他	不明・ 無回答
10歳代	20 100.0	2 10.0	4 20.0	2 10.0	5 25.0	7 35.0	-	-
20歳代	114 100.0	9 7.9	25 21.9	15 13.2	26 22.8	36 31.6	2 1.8	1 0.9
30歳代	110 100.0	8 7.3	24 21.8	36 32.7	11 10.0	26 23.6	3 2.7	2 1.8
40歳代	125 100.0	11 8.8	25 20.0	22 17.6	28 22.4	34 27.2	2 1.6	3 2.4
50歳代	124 100.0	7 5.6	49 39.5	14 11.3	13 10.5	38 30.6	-	3 2.4
60歳代	118 100.0	13 11.0	48 40.7	11 9.3	10 8.5	30 25.4	3 2.5	3 2.5
70歳代	129 100.0	27 20.9	42 32.6	6 4.7	9 7.0	33 25.6	2 1.6	10 7.8
80歳以上	37 100.0	15 40.5	8 21.6	2 5.4	3 8.1	7 18.9	-	2 5.4

■問 10×地区別

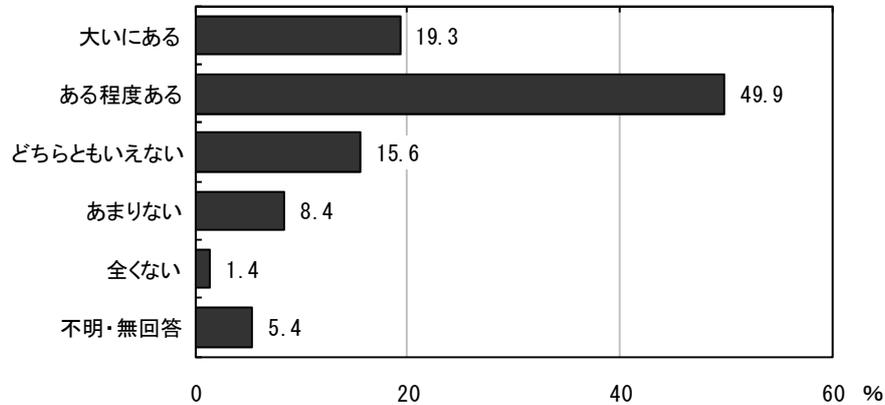
年代別に見ると、南河内第二中学校区では「下野市全域」が最も高く、他の3地区では「自治会」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	隣近所	自治会	小学校区	中学校区	下野市全域	その他	不明・ 無回答
南河内中学校区	106 100.0	15 14.2	29 27.4	23 21.7	8 7.5	27 25.5	1 0.9	3 2.8
南河内第二中学校区	164 100.0	15 9.1	43 26.2	18 11.0	33 20.1	48 29.3	3 1.8	4 2.4
石橋中学校区	282 100.0	34 12.1	83 29.4	40 14.2	39 13.8	78 27.7	2 0.7	6 2.1
国分寺中学校区	213 100.0	27 12.7	66 31.0	27 12.7	25 11.7	56 26.3	3 1.4	9 4.2

問 11- (1) あなたは、今住んでいる地域に愛着がありますか。(SA)

今住んでいる地域への愛着があるかについては、愛着が『ある』（「大いにある」と「ある程度ある」の合計）方は 69.2% となっています。

(SA) n=777

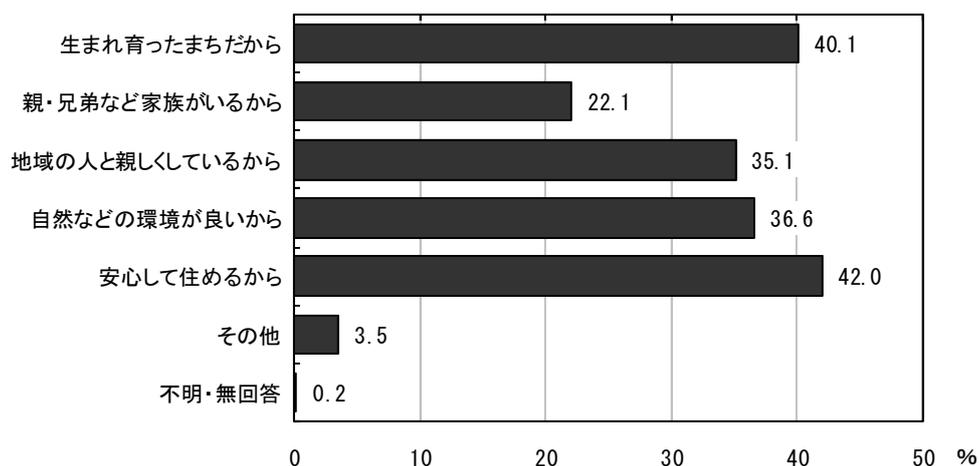


(問 11- (1) で「大いにある」「ある程度ある」を選んだ人におたずねします。)

問 11- (2) 愛着があると感じるのはなぜですか。(MA)

愛着を感じる理由としては、「安心して住めるから」が 42.0% と最も高く、次いで「生まれ育ったまちだから」が 40.1%、「自然などの環境が良いから」が 36.6% となっています。

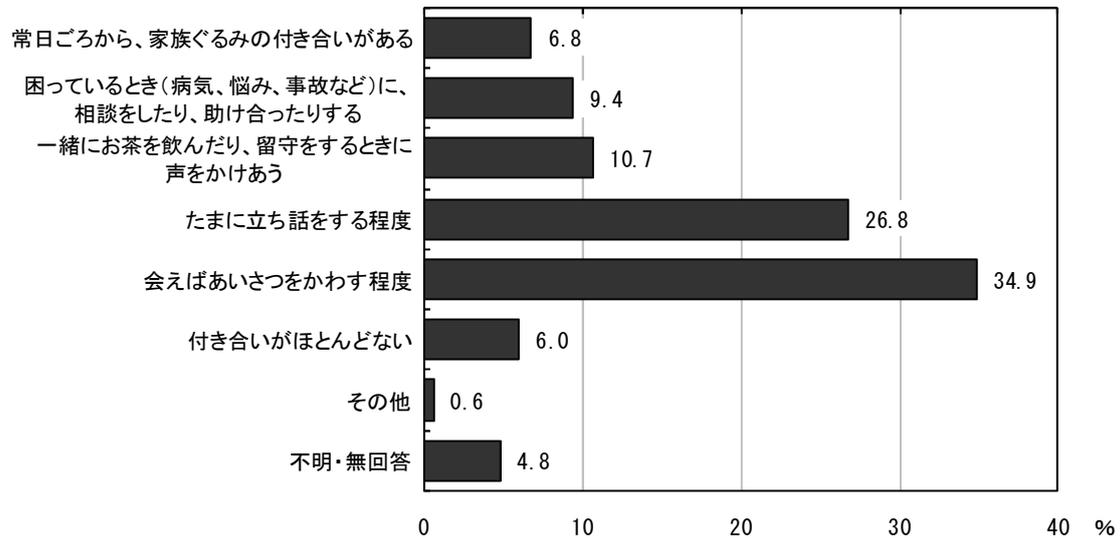
(MA) n=538



問 12 あなたは、ふだん近所の人とどの程度の付き合いをされていますか。(SA)

ふだんの近所付き合いについては、「会えばあいさつをかわす程度」が 34.9%と最も高く、次いで「たまに立ち話をする程度」が 26.8%、「一緒にお茶を飲んだり、留守をするときに声をかけあう」が 10.7%となっています。

(SA) n=777



■問 12×年代別

年代別に見ると、10歳代～40歳代は「会えばあいさつをかわす程度」が最も高く、40歳代～70歳代は「たまに立ち話をする程度」、80歳以上では「一緒にお茶を飲んだり、留守をするときに声をかけあう」や「困っているとき（病気、悩み、事故など）に、相談をしたり、助け合ったりする」がそれぞれ高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	常日 の 付 き 合 い が あ る	困 っ て い る と き (病 気 、 悩 み 、 事 故 な ど) に 、 相 談 を し た り 、 助 け 合 っ た り す る	声 を か け あ う	一 緒 に お 茶 を 飲 ん だ り 、 留 守 を す る と き に	た ま に 立 ち 話 を す る 程 度	会 え ば あ い さ つ を か わ す 程 度	い 付 き 合 い が ほ と ん ど な	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
10歳代	20 100.0	2 10.0	- -	- -	- -	1 5.0	15 75.0	2 10.0	- -	- -
20歳代	114 100.0	7 6.1	3 2.6	4 3.5	7 6.1	64 56.1	25 21.9	2 1.8	2 1.8	
30歳代	110 100.0	3 2.7	4 3.6	12 10.9	30 27.3	47 42.7	10 9.1	- -	4 3.6	
40歳代	125 100.0	4 3.2	9 7.2	8 6.4	45 36.0	45 36.0	5 4.0	1 0.8	8 6.4	
50歳代	124 100.0	12 9.7	8 6.5	11 8.9	48 38.7	38 30.6	3 2.4	- -	4 3.2	
60歳代	118 100.0	12 10.2	17 14.4	12 10.2	36 30.5	31 26.3	2 1.7	- -	8 6.8	
70歳代	129 100.0	7 5.4	23 17.8	27 20.9	34 26.4	27 20.9	- -	2 1.6	9 7.0	
80歳以上	37 100.0	6 16.2	9 24.3	9 24.3	7 18.9	4 10.8	- -	- -	2 5.4	

■問 12×地区別

地区別に見ると、南河内中学校区では「たまに立ち話をする程度」が最も高く、他の3地区では「会えばあいさつをかわす程度」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	常日 の 付 き 合 い が あ る	困 っ て い る と き (病 気 、 悩 み 、 事 故 な ど) に 、 相 談 を し た り 、 助 け 合 っ た り す る	声 を か け あ う	一 緒 に お 茶 を 飲 ん だ り 、 留 守 を す る と き に	た ま に 立 ち 話 を す る 程 度	会 え ば あ い さ つ を か わ す 程 度	い 付 き 合 い が ほ と ん ど な	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
南河内中学校区	106 100.0	11 10.4	15 14.2	19 17.9	26 24.5	23 21.7	7 6.6	1 0.9	4 3.8	
南河内第二中学校区	164 100.0	5 3.0	9 5.5	12 7.3	46 28.0	75 45.7	11 6.7	1 0.6	5 3.0	
石橋中学校区	282 100.0	19 6.7	37 13.1	32 11.3	74 26.2	87 30.9	14 5.0	2 0.7	17 6.0	
国分寺中学校区	213 100.0	18 8.5	11 5.2	19 8.9	59 27.7	82 38.5	12 5.6	1 0.5	11 5.2	

■問 12×居住年数別

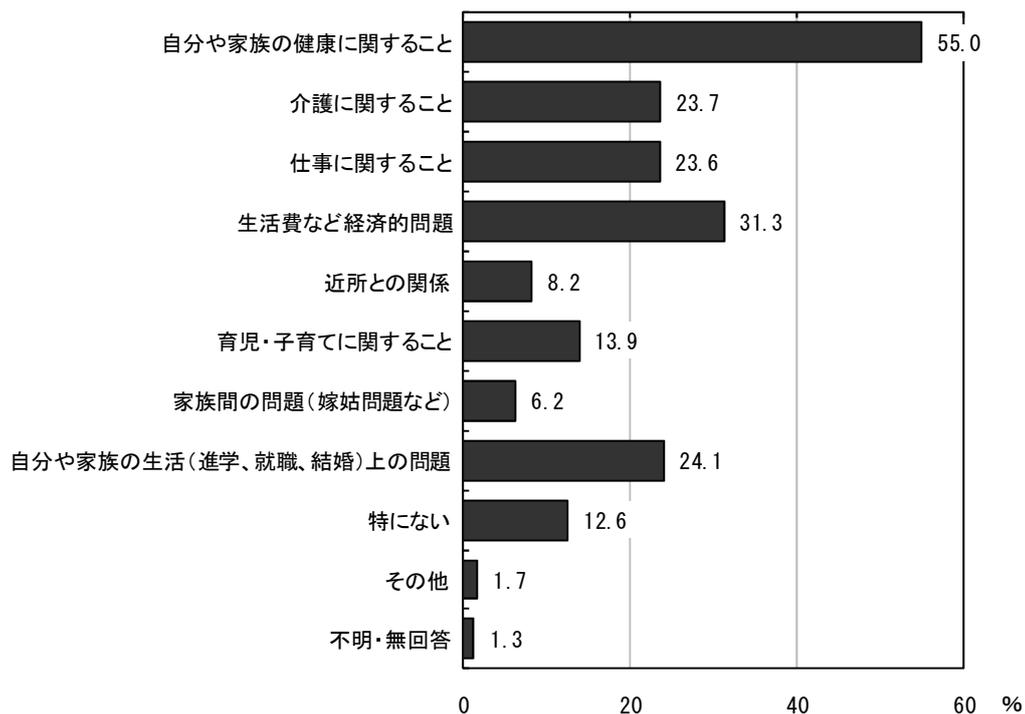
居住年数別に見ると、居住年数が50年以上では「たまに立ち話をする程度」が最も高く、居住年数が50年未満では「会えばあいさつをかわす程度」が最も高くなっています。また、居住年数が長くなるにしたがって、近所付き合いが深くなる傾向があります。一方で、居住年数が5年未満では「付き合いがほとんどない」が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	常日 の 付 き 合 い が あ る	困 っ て い る と き (病 に 、 悩 み 、 事 故 な ど) 助 け 合 っ た り す る	一 緒 に お 茶 を 飲 ん だ に 、 留 守 を す る と き に 声 を か け あ う	た ま に 立 ち 話 を す る 程 度	会 え ば あ い さ つ を か わ す 程 度	付 き 合 い が ほ と ん ど な い	そ の 他	不 明 ・ 無 回 答
50年以上住んで いる	135 100.0	18 13.3	30 22.2	23 17.0	34 25.2	20 14.8	2 1.5	- -	8 5.9
20～49年住んで いる	283 100.0	20 7.1	28 9.9	36 12.7	77 27.2	93 32.9	9 3.2	1 0.4	19 6.7
10～19年住んで いる	188 100.0	6 3.2	6 3.2	14 7.4	67 35.6	82 43.6	6 3.2	1 0.5	6 3.2
5～9年住んで いる	67 100.0	3 4.5	5 7.5	6 9.0	11 16.4	28 41.8	9 13.4	1 1.5	4 6.0
住みはじめて 5年に満たない	98 100.0	5 5.1	3 3.1	2 2.0	19 19.4	47 48.0	20 20.4	2 2.0	- -

問 13 あなたは、毎日の暮らしの中で、次のどのようなことに悩みや不安を感じていますか。
(MA)

毎日の暮らしの中での悩みや不安については、「自分や家族の健康に関すること」が 55.0%と最も高く、次いで「生活費など経済的問題」が 31.3%、「自分や家族の生活（進学、就職、結婚）上の問題」が 24.1%となっています。

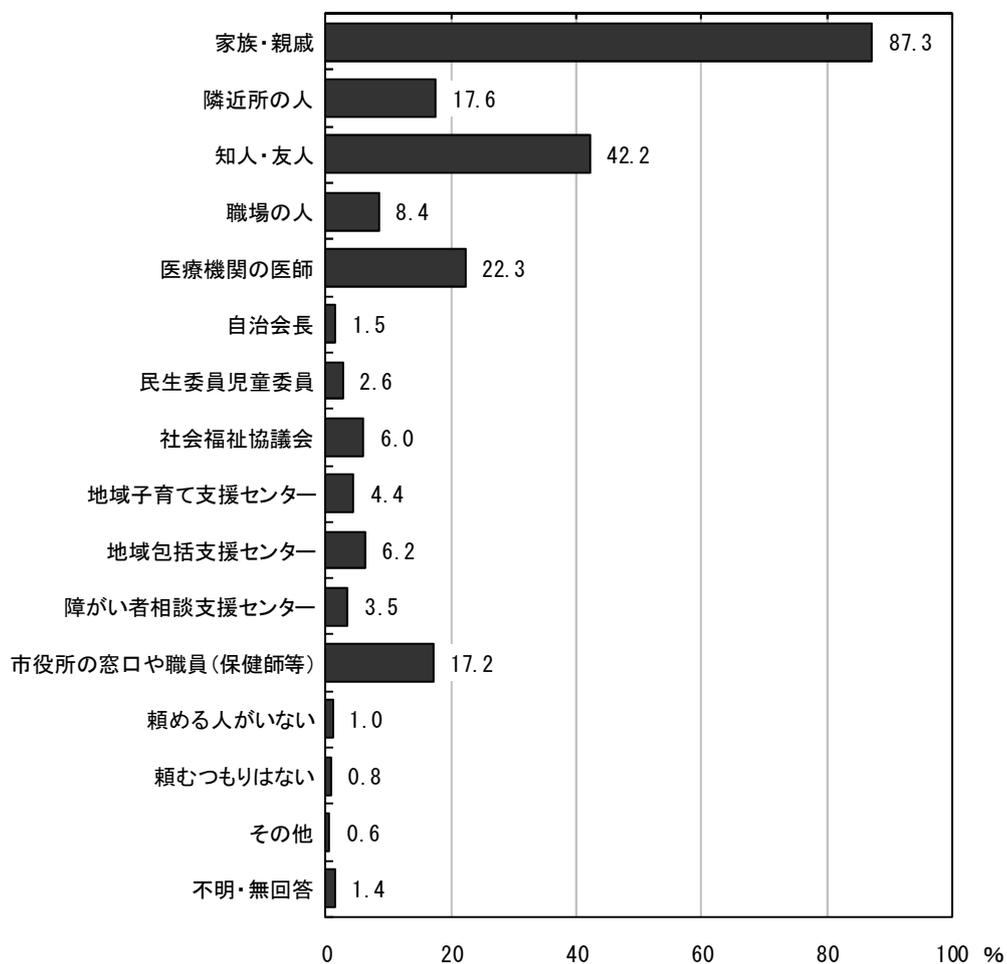
(MA) n=777



問 14 あなたは、暮らしの中で相談や助けが必要なとき誰に頼みたいと思いますか。(MA)

相談や助けが必要なときに頼みたい相手としては、「家族・親戚」が 87.3%と顕著に高く、次いで「知人・友人」が 42.2%、「医療機関の医師」が 22.3%となっています。

(MA) n=777



■問 14×地区別

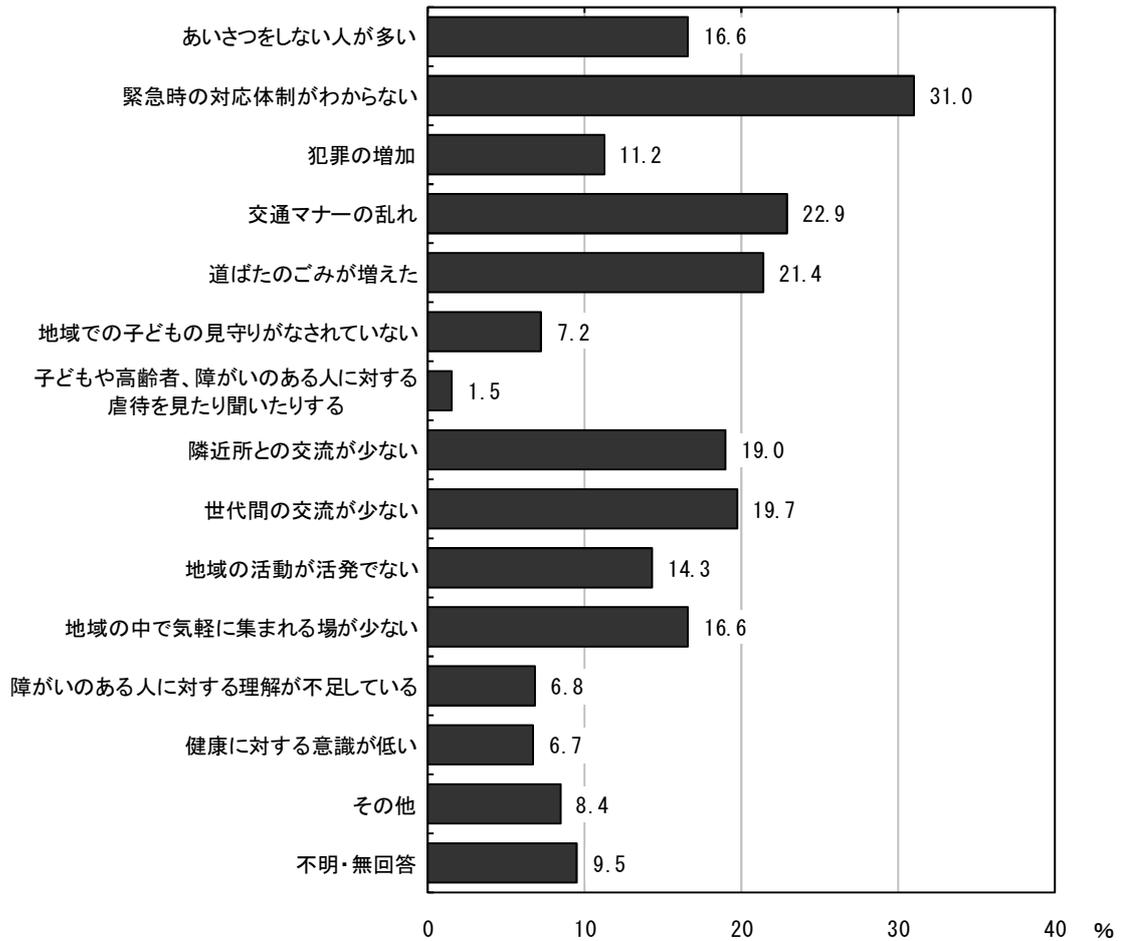
地区別に見ると、すべての地区で「家族・親戚」が最も高く、次いで「知人・友人」、「医療機関の医師」が高くなっています。また、南河内第二中学校区では「隣近所の人」よりも「市役所の窓口や職員」に相談する人の割合が高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	家族・親戚	隣近所の人	知人・友人	職場の人	医療機関の医師	自治会長	民生委員児童委員	社会福祉協議会	地域子育て支援センター	地域包括支援センター	障がい者相談支援センター	市役所の窓口や職員 (保健師等)	頼める人がいない	頼むつもりはない	その他	不明・無回答
南河内中学校区	106 100.0	96 90.6	20 18.9	33 31.1	6 5.7	23 21.7	5 4.7	5 4.7	6 5.7	6 5.7	8 7.5	3 2.8	20 18.9	2 1.9	- -	- -	1 0.9
南河内第二中学校区	164 100.0	141 86.0	21 12.8	87 53.0	14 8.5	33 20.1	2 1.2	5 3.0	8 4.9	7 4.3	10 6.1	6 3.7	30 18.3	1 0.6	1 0.6	2 1.2	2 1.2
石橋中学校区	282 100.0	247 87.6	59 20.9	119 42.2	24 8.5	64 22.7	3 1.1	7 2.5	17 6.0	11 3.9	17 6.0	11 3.9	44 15.6	3 1.1	1 0.4	1 0.4	4 1.4
国分寺中学校区	213 100.0	186 87.3	36 16.9	86 40.4	20 9.4	50 23.5	2 0.9	2 0.9	15 7.0	9 4.2	12 5.6	7 3.3	35 16.4	1 0.5	4 1.9	2 0.9	3 1.4

問 15 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点・不足していると思うものはなんですか。(MA)

地域における問題点・不足しているものとしては、「緊急時の対応体制がわからない」が31.0%と最も高く、次いで「交通マナーの乱れ」が22.9%、「道ばたのごみが増えた」が21.4%となっています。

(MA) n=777



■問 15×地区別

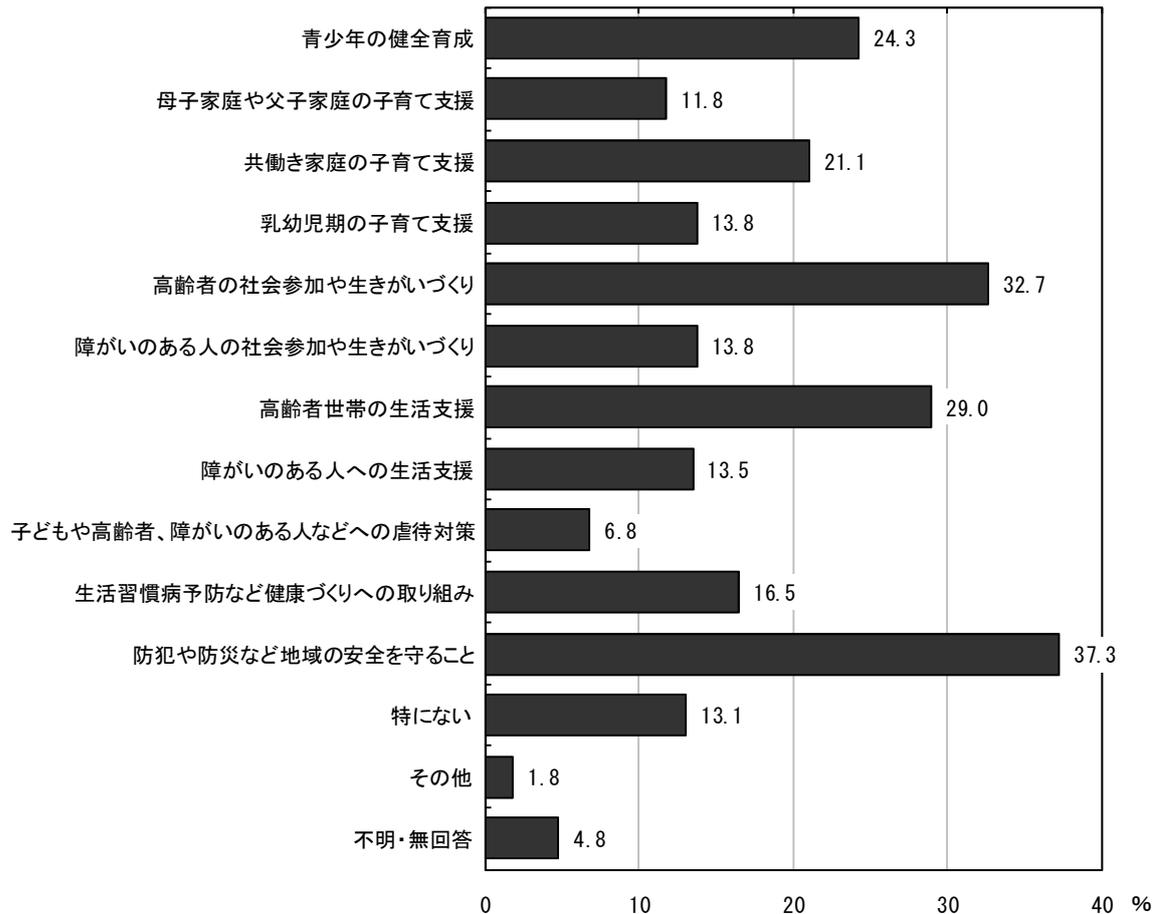
地区別に見ると、すべての地区で「緊急時の対応体制がわからない」が最も高く、次いで南河内中学校区と石橋中学校区では「道ばたのごみが増えた」、南河内第二中学校区では「隣近所との交流が少ない」、国分寺中学校区では「世代間の交流が少ない」がそれぞれ高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	あいさつをしない人が多い	緊急時の対応体制がわからない	犯罪の増加	交通マナーの乱れ	道ばたのごみが増えた	地域での子どもが見守りがなされていない	子どもや高齢者、障がいのある人に対する虐待を見たり聞いたりする	隣近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の活動が活発でない	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	障がいのある人に対する理解が不足している	健康に対する意識が低い	その他	不明・無回答
南河内中学校区	106 100.0	12 11.3	33 31.1	6 5.7	19 17.9	29 27.4	5 4.7	1 0.9	17 16.0	18 17.0	24 22.6	21 19.8	3 2.8	9 8.5	11 10.4	6 5.7
南河内第二中学校区	164 100.0	28 17.1	58 35.4	27 16.5	37 22.6	19 11.6	12 7.3	1 0.6	44 26.8	34 20.7	21 12.8	23 14.0	10 6.1	3 1.8	18 11.0	18 11.0
石橋中学校区	282 100.0	46 16.3	88 31.2	28 9.9	74 26.2	77 27.3	27 9.6	7 2.5	43 15.2	54 19.1	39 13.8	50 17.7	27 9.6	23 8.2	20 7.1	21 7.4
国分寺中学校区	213 100.0	40 18.8	59 27.7	25 11.7	46 21.6	41 19.2	11 5.2	3 1.4	43 20.2	47 22.1	26 12.2	34 16.0	13 6.1	14 6.6	13 6.1	26 12.2

問 16 あなたの身近な地域には、地域住民が取り組むべき課題や問題としてどのようなことがあるとお考えですか。(MA)

地域住民が取り組むべき課題や問題としては、「防犯や防災など地域の安全を守ること」が37.3%と最も高く、次いで「高齢者の社会参加や生きがいがづくり」が32.7%、「高齢者世帯の生活支援」が29.0%となっています。

(MA) n=777



■問 16×地区別

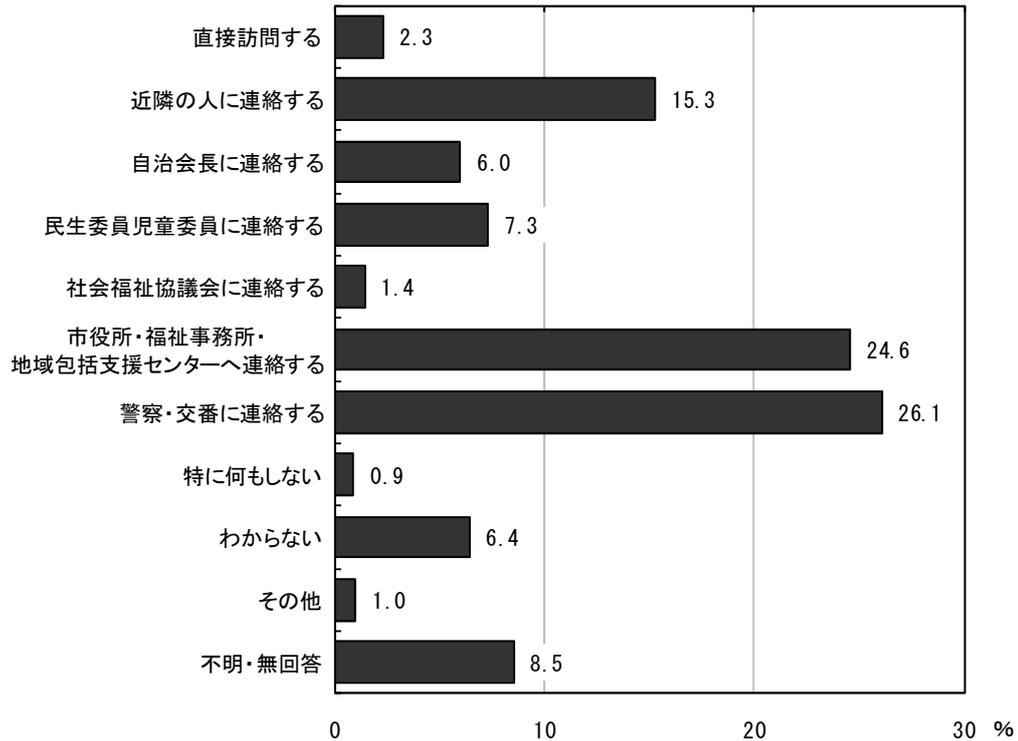
地区別に見ると、南河内中学校区では「高齢者の社会参加や生きがいつくり」が最も高く、その他の3地区では、「防犯や防災など地域の安全を守ること」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	青少年の健全育成	母子家庭や父子家庭の子育て支援	共働き家庭の子育て支援	乳幼児期の子育て支援	高齢者の社会参加や生きがいつくり	障がいのある人の社会参加や生きがいつくり	高齢者世帯の生活支援	障がいのある人への生活支援	子どもや高齢者、障がいのある人などへの虐待対策	生活習慣病予防など健康づくりにへの取り組み	防犯や防災など地域の安全を守ること	特になし	その他	不明・無回答
南河内中学校区	106 100.0	23 21.7	7 6.6	17 16.0	11 10.4	35 33.0	9 8.5	31 29.2	6 5.7	6 5.7	18 17.0	34 32.1	13 12.3	2 1.9	7 6.6
南河内第二中学校区	164 100.0	48 29.3	20 12.2	32 19.5	25 15.2	60 36.6	33 20.1	46 28.0	26 15.9	12 7.3	34 20.7	81 49.4	22 13.4	4 2.4	8 4.9
石橋中学校区	282 100.0	73 25.9	35 12.4	64 22.7	37 13.1	86 30.5	39 13.8	93 33.0	40 14.2	17 6.0	42 14.9	97 34.4	34 12.1	3 1.1	11 3.9
国分寺中学校区	213 100.0	43 20.2	28 13.1	49 23.0	31 14.6	70 32.9	24 11.3	53 24.9	32 15.0	16 7.5	30 14.1	75 35.2	32 15.0	4 1.9	8 3.8

問 17 もし、あなたの周辺で孤独死や児童虐待などが起きるおそれがある状況を知ったら、最初にどのように対応しますか。(SA)

孤独死や児童虐待などが起きるおそれがある状況を知ったら、最初にどのように対応するかについては、「警察・交番に連絡する」が 26.1%と最も高く、次いで「市役所・福祉事務所・地域包括支援センターへ連絡する」が 24.6%、「近隣の人に連絡する」が 15.3%となっています。

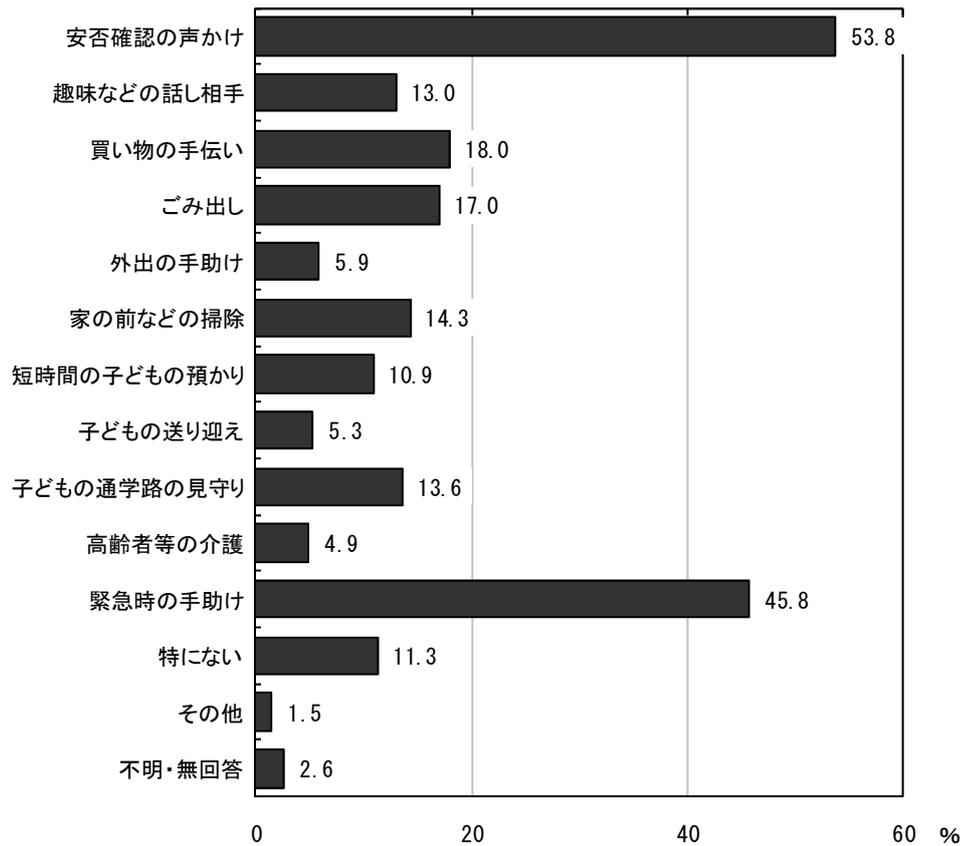
(SA) n=777



問 18 隣近所で、高齢者や障がいのある人の介助・介護や子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けができますか。（MA）

隣近所で困っている家庭にできる手助けについては、「安否確認の声かけ」が 53.8%と最も高く、次いで「緊急時の手助け」が 45.8%、「買い物の手伝い」が 18.0%となっています。

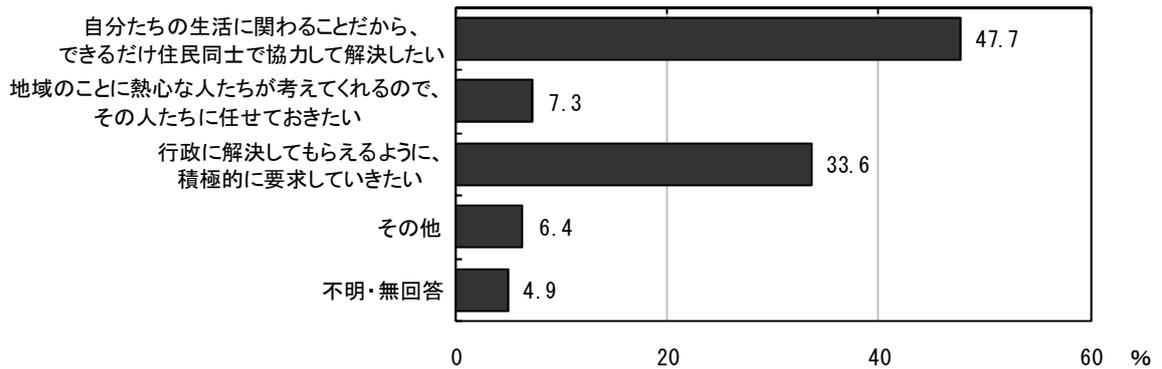
(MA) n=777



問 19 日常生活の中で起こる問題に対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(SA)

日常生活における問題の解決方法については、「自分たちの生活に関わることだから、できるだけ住民同士で協力して解決したい」が47.7%と最も高く、次いで「行政に解決してもらえるように、積極的に要求していきたい」が33.6%、「地域のことに熱心な人たちが考えてくれるので、その人たちに任せておきたい」が7.3%となっています。

(SA) n=777

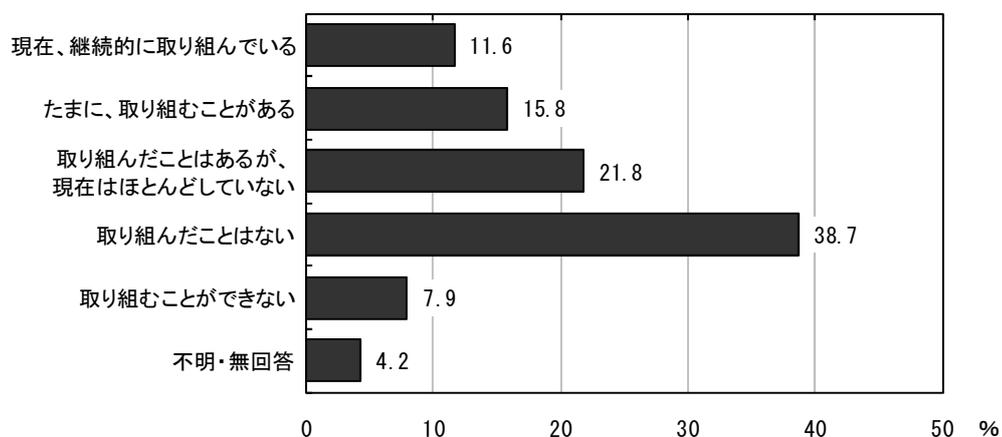


4. 地域活動やボランティア活動などについて

問 20－（1） あなたは、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等について、取り組んでいますか。（S A）

地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動への活動状況については、活動した『経験がある』（「現在、継続的に取り組んでいる」、「たまに、取り組むことがある」、「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」の合計）が49.2%となっています。

(SA) n=777

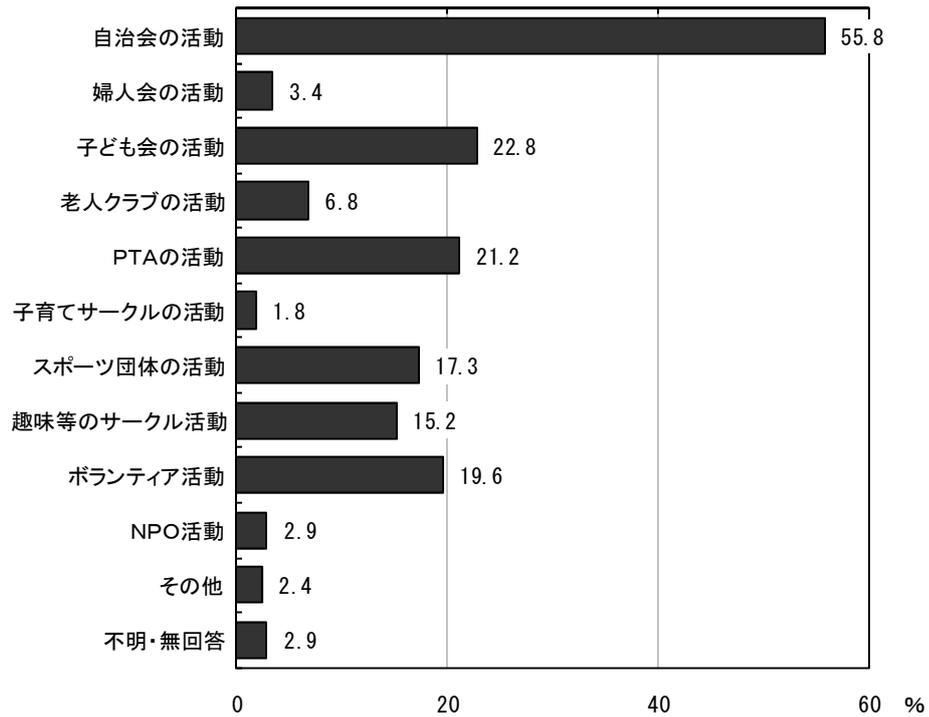


(問 20- (1) で「現在、継続的に取り組んでいる」「たまに、取り組むことがある」「取り組んだことはあるが、現在はほとんどしていない」を選んだ人におたずねします。)

問 20- (2) どのような活動をしていますか。(MA)

具体的な活動内容については、「自治会の活動」が 55.8%と顕著に高く、次いで「子ども会の活動」が 22.8%、「PTAの活動」が 21.2%となっています。

(MA) n=382

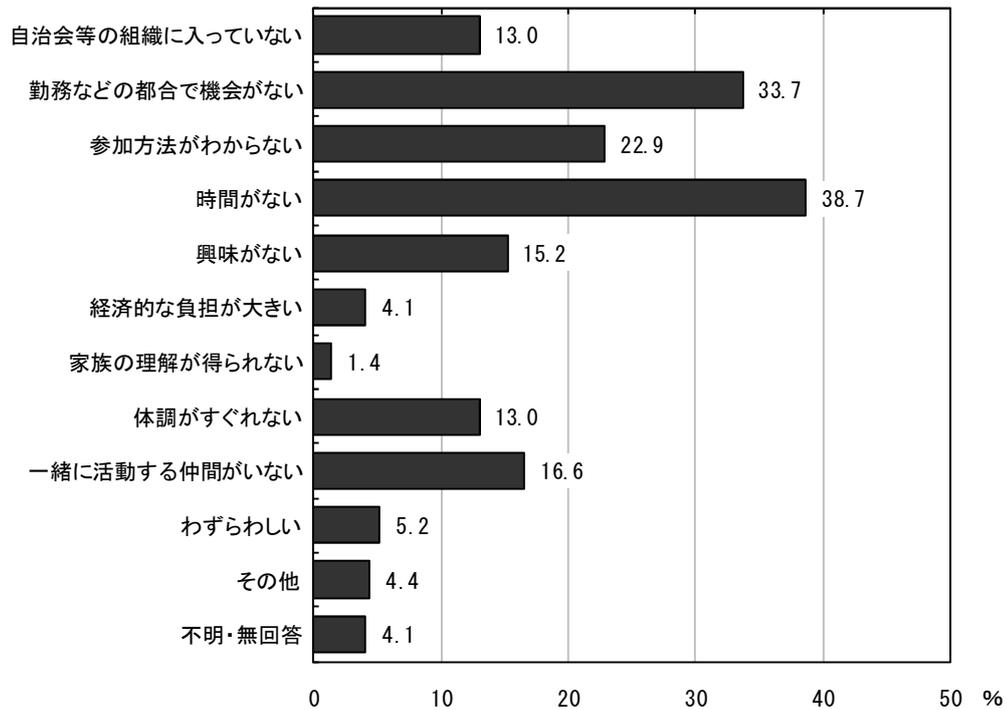


(問 20－(1) で「取り組んだことはない」「取り組むことができない」を選んだ人におたずねします。)

問 20－(3) 現在活動していない理由は何ですか。(MA)

活動をしていない理由については、「時間がない」が 38.7%と最も高く、次いで「勤務などの都合で機会がない」が 33.7%、「参加方法がわからない」が 22.9%となっています。

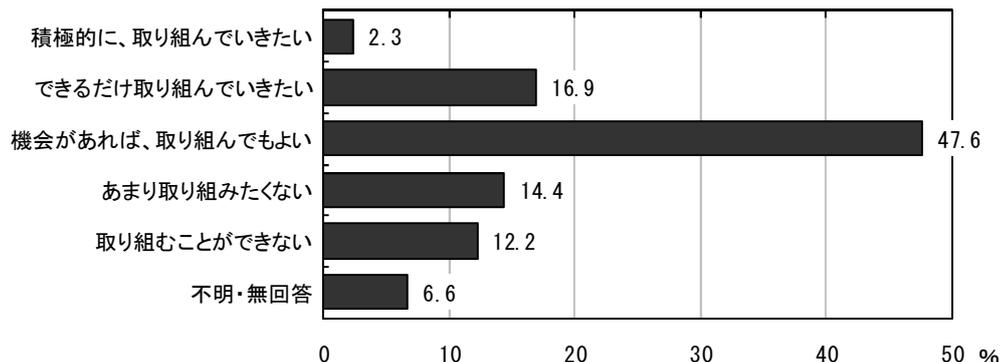
(MA) n=362



問 21－（１） あなたは、今後、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等に、どの程度取り組んでいきたいと考えていますか。（SA）

今後、地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等への取り組みの意向については、『取り組みたい』（「積極的に、取り組んでいきたい」、「できるだけ取り組んでいきたい」、「機会があれば、取り組んでもよい」の合計）が 66.8%となっています。

(SA) n=777



■問 21－（１）×年代別

年代別に見ると、10歳代～70歳代は「機会があれば、取り組んでもよい」が最も高く、80歳以上では「取り組むことができない」が最も高くなっています。

また、10歳代や20歳代、40歳代では「あまり取り組みたくない」がやや高くなっています。

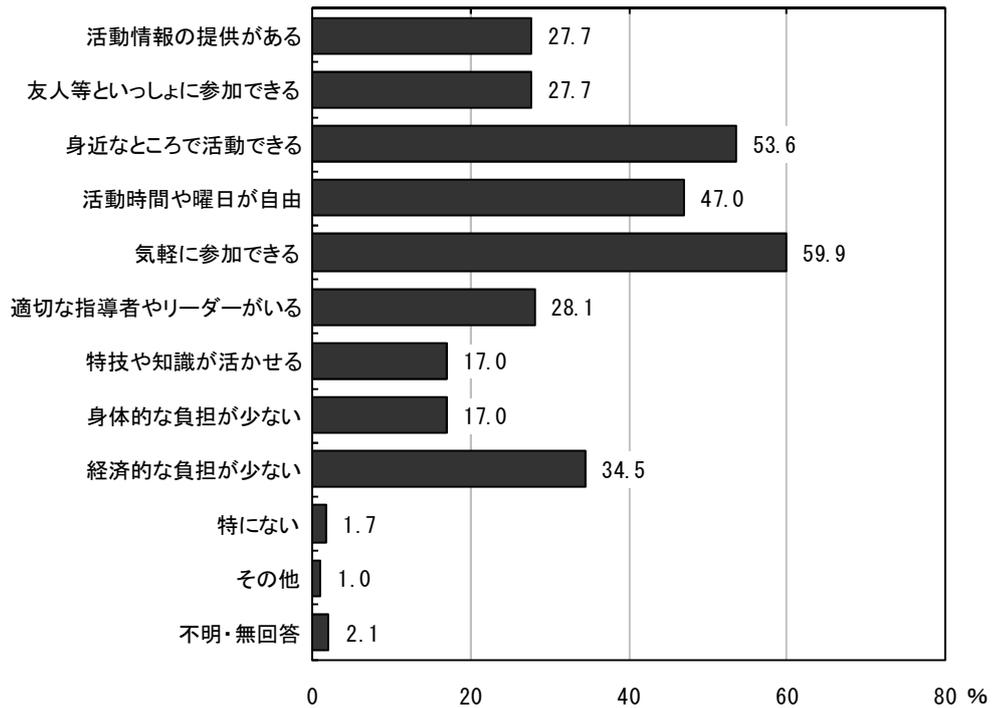
上段:度数 下段:%	合計	積極的に 取り組 みたい	積極 的に 取り 組 む	でき る だけ 取り 組 む	機会 があ れば 、取 り 組 む	あ ま り 取 り 組 み た く な い	取 り 組 む こ と が で き な い	不 明 ・ 無 回 答
10歳代	20 100.0	1 5.0	4 20.0	8 40.0	5 25.0	2 10.0	-	-
20歳代	114 100.0	2 1.8	13 11.4	56 49.1	24 21.1	11 9.6	8 7.0	
30歳代	110 100.0	2 1.8	17 15.5	67 60.9	9 8.2	10 9.1	5 4.5	
40歳代	125 100.0	1 0.8	16 12.8	69 55.2	22 17.6	15 12.0	2 1.6	
50歳代	124 100.0	2 1.6	24 19.4	71 57.3	11 8.9	9 7.3	7 5.6	
60歳代	118 100.0	5 4.2	21 17.8	59 50.0	18 15.3	11 9.3	4 3.4	
70歳代	129 100.0	5 3.9	30 23.3	35 27.1	16 12.4	26 20.2	17 13.2	
80歳以上	37 100.0	-	6 16.2	5 13.5	7 18.9	11 29.7	8 21.6	

(問 21- (1) で「積極的に、取り組んでいきたい」「できるだけ取り組んでいきたい」「機会があれば、取り組んでもよい」を選んだ人におたずねします。)

問 21- (2) どのような条件であれば、活動・参加したいと思いますか。(MA)

地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等への取り組みの条件については、「気軽に参加できる」が 59.9%と最も高く、次いで「身近なところで活動できる」が 53.6%、「活動時間や曜日が自由」が 47.0%となっています。

(MA) n=519

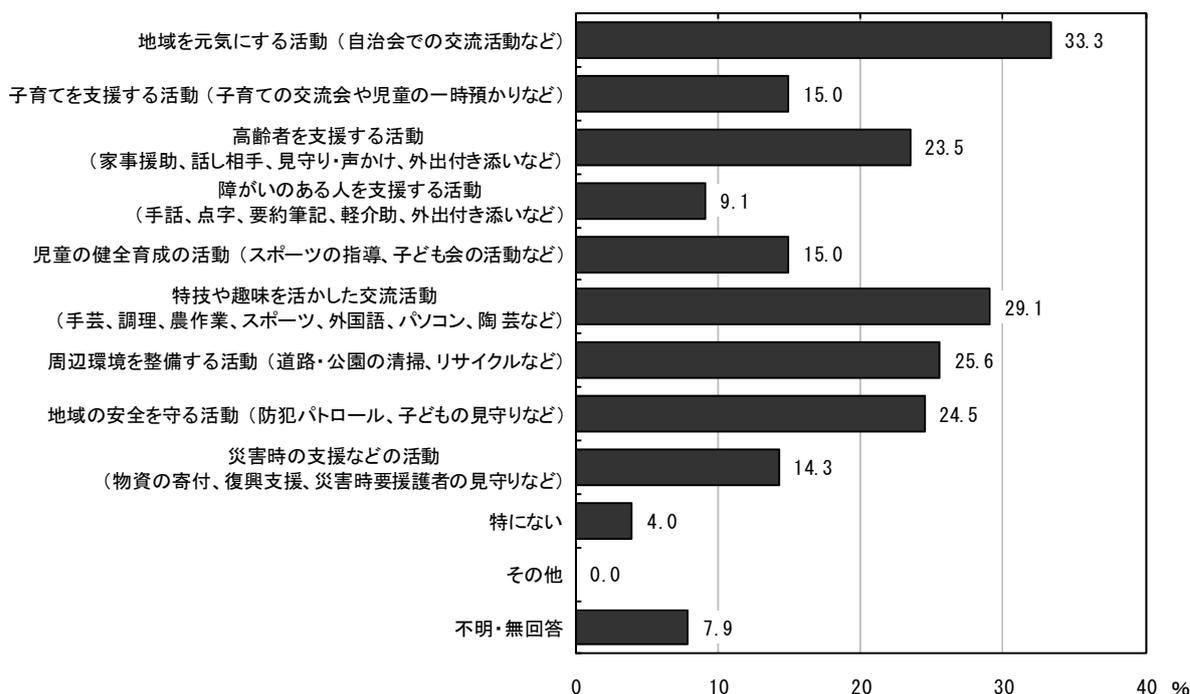


(問 21- (1) で「積極的に、取り組んでいきたい」「できるだけ取り組んでいきたい」「機会があれば、取り組んでもよい」を選んだ人におたずねします。)

問 21- (3) あなたが今後してみたい地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等は何ですか (MA)

今後してみたい地域活動やボランティア活動、地域や住民に対する各種の支援活動等については、「地域を元気にする活動」が 33.3%と最も高く、次いで「特技や趣味を活かした交流活動」が 29.1%、「周辺環境を整備する活動」が 25.6%となっています。

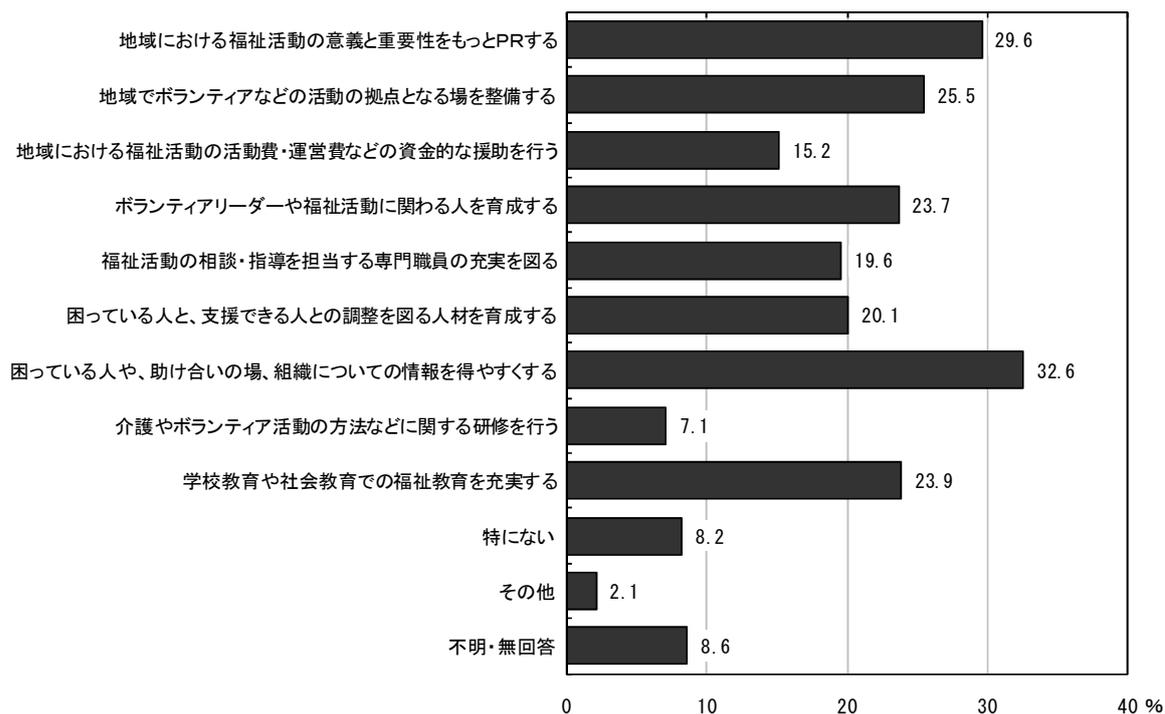
(MA) n=519



問 22 地域における助け合い、支え合い活動を活発にするためには、どのようなことが重要だと思いますか。(MA)

地域における助け合い、支え合い活動を活発にするために重要なことについては、「困っている人や、助け合いの場、組織についての情報を得やすくする」が 32.6%と最も高く、次いで「地域における福祉活動の意義と重要性をもっとPRする」が 29.6%、「地域でボランティアなどの活動の拠点となる場を整備する」が 25.5%となっています。

(MA) n=777

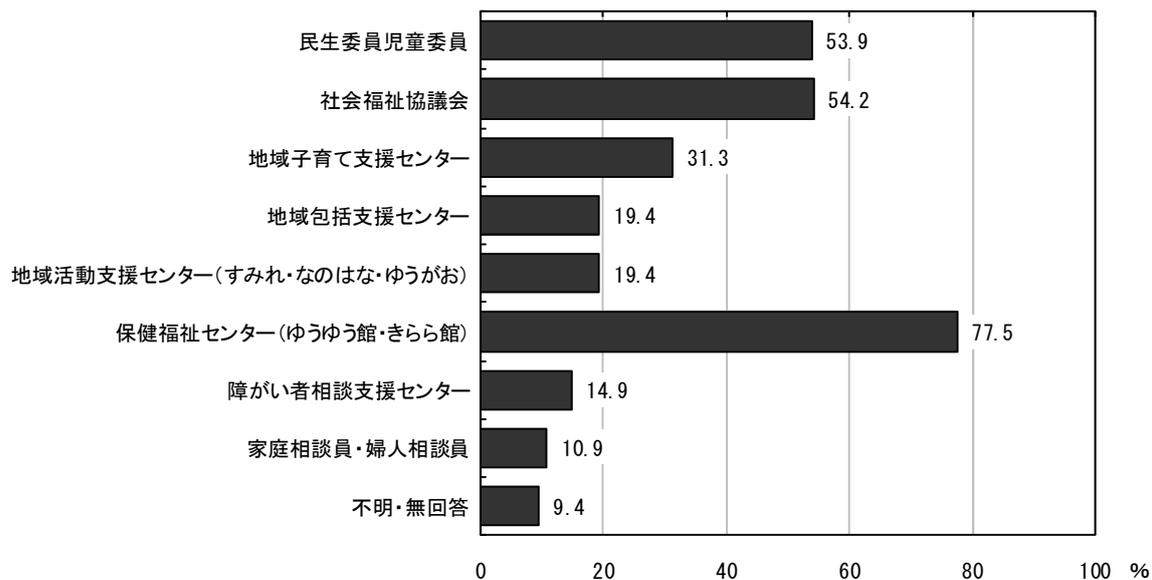


5. 福祉サービスなどについて

問 23 あなたは、次の団体や機関を知っていますか。(MA)

団体や機関の認知度としては、「保健福祉センター（ゆうゆう館・きらら館）」が77.5%と最も高く、次いで「社会福祉協議会」が54.2%、「民生委員児童委員」が53.9%となっています。

(MA) n=777



■問 23×年代別

年代別に見ると、10歳代～60歳代や80歳以上では「保健福祉センター」が最も高く、70歳代では「民生委員児童委員」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	民生委員児童委員	社会福祉協議会	地域子育て支援センター	地域包括支援センター	地域活動支援センター (すみれ・なのはな・ゆうがお)	保健福祉センター(ゆうゆう館・きらら館)	障がい者相談支援センター	家庭相談員・婦人相談員	不明・無回答
10歳代	20 100.0	3 15.0	4 20.0	7 35.0	1 5.0	1 5.0	18 90.0	3 15.0	2 10.0	1 5.0
20歳代	114 100.0	43 37.7	42 36.8	41 36.0	22 19.3	15 13.2	81 71.1	16 14.0	14 12.3	16 14.0
30歳代	110 100.0	49 44.5	45 40.9	55 50.0	17 15.5	17 15.5	99 90.0	15 13.6	12 10.9	4 3.6
40歳代	125 100.0	67 53.6	63 50.4	41 32.8	15 12.0	14 11.2	98 78.4	13 10.4	13 10.4	9 7.2
50歳代	124 100.0	74 59.7	78 62.9	28 22.6	22 17.7	27 21.8	101 81.5	18 14.5	11 8.9	11 8.9
60歳代	118 100.0	72 61.0	83 70.3	29 24.6	28 23.7	26 22.0	93 78.8	23 19.5	14 11.9	13 11.0
70歳代	129 100.0	93 72.1	85 65.9	36 27.9	37 28.7	41 31.8	90 69.8	20 15.5	14 10.9	13 10.1
80歳以上	37 100.0	18 48.6	21 56.8	6 16.2	9 24.3	10 27.0	22 59.5	8 21.6	5 13.5	6 16.2

■問 23×地区別

地区別に見ると、すべての地区で「保健福祉センター」が最も高くなっています。また、南河内中学校区では他の地区に比べて団体や機関の認知度が高くなっています。

石橋中学校区では「地域活動支援センター」が高くなっていますが、「地域子育て支援センター」は低くなっています。

国分寺中学校区では「民生委員児童委員」と「地域活動支援センター」が低くなっています。

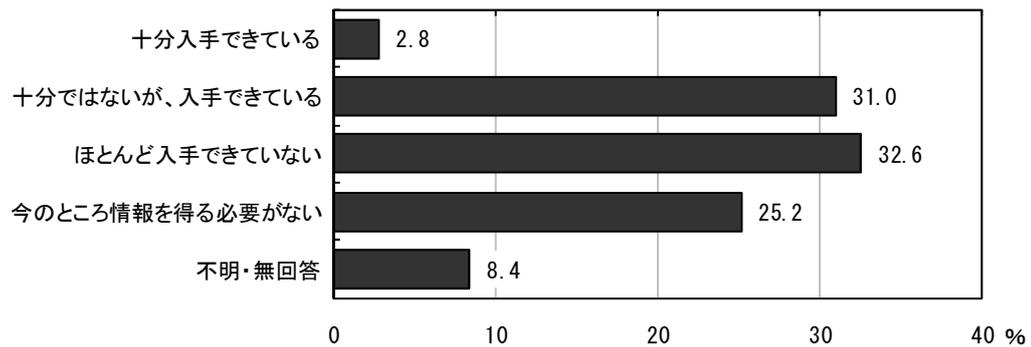
上段:度数 下段:%	合計	民生委員児童委員	社会福祉協議会	地域子育て支援センター	地域包括支援センター	地域活動支援センター(すみれ・なのはな・ゆうがお)	保健福祉センター(ゆうゆう館・きらら館)	障がい者相談支援センター	家庭相談員・婦人相談員	不明・無回答
南河内中学校区	106 100.0	67 63.2	66 62.3	37 34.9	32 30.2	21 19.8	75 70.8	13 12.3	16 15.1	10 9.4
南河内第二中学校区	164 100.0	93 56.7	89 54.3	62 37.8	32 19.5	24 14.6	114 69.5	21 12.8	15 9.1	20 12.2
石橋中学校区	282 100.0	152 53.9	147 52.1	68 24.1	44 15.6	86 30.5	219 77.7	41 14.5	32 11.3	23 8.2
国分寺中学校区	213 100.0	102 47.9	114 53.5	73 34.3	41 19.2	18 8.5	187 87.8	38 17.8	21 9.9	17 8.0

問 24－（１） あなたは、自分に必要な「福祉サービス※」の情報をどの程度入手できているとお考えですか。（SA）

※福祉サービス：行政が行う高齢者福祉サービス、介護保険サービス、障がい福祉サービス、児童福祉サービスなど。

自分に必要な「福祉サービス」の情報をどの程度入手できているかについては、『入手できている』（「十分入手できている」と「十分ではないが、入手できている」の合計）は33.8%となっています。

(SA) n=777



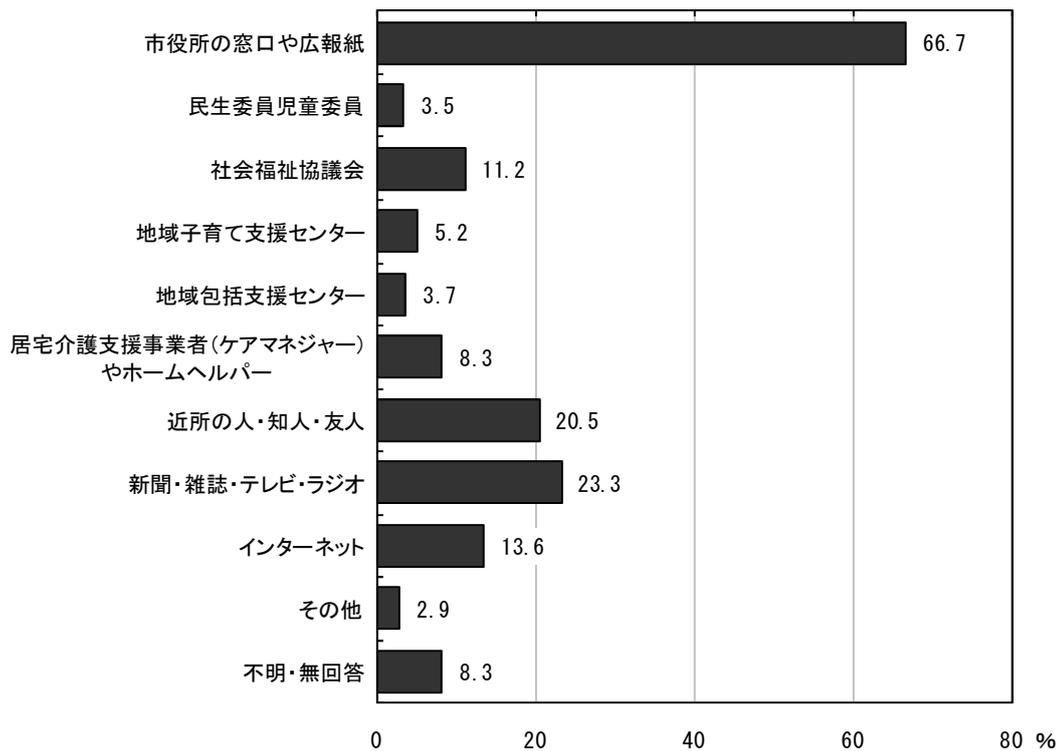
(問 24- (1) で「十分入手できている」「十分ではないが、入手できている」「ほとんど入手できていない」を選んだ人におたずねします。)

問 24- (2) あなたは、「福祉サービス」に関する情報を主にどこから入手していますか。

(MA)

「福祉サービス」に関する情報の入手源としては、「市役所の窓口や広報紙」が 66.7% と顕著に高く、次いで「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が 23.3%、「近所の人・知人・友人」が 20.5%となっています。

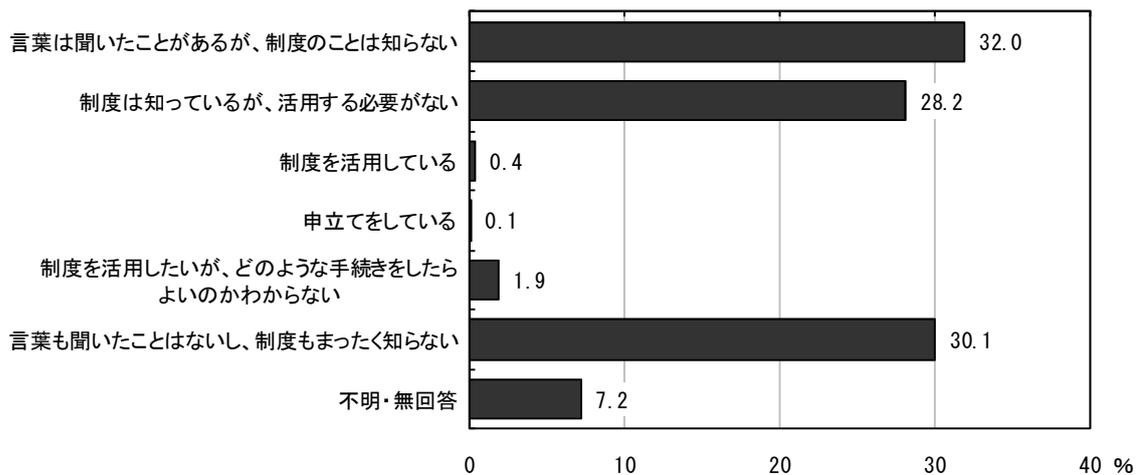
(MA) n=516



問 25 「成年後見制度」とは、本人が障がいや認知症などで判断能力が十分でない場合、本人に代わって家庭裁判所が決める法定後見人が財産管理や介護サービス契約などを行うことができる制度ですが、あなたはこの制度について知っていますか。(SA)

「成年後見制度」については、「言葉は聞いたことがあるが、制度のことは知らない」が 32.0%と最も高く、次いで「言葉も聞いたことはないし、制度もまったく知らない」が 30.1%、「制度は知っているが、活用する必要がない」が 28.2%となっています。

(SA) n=777

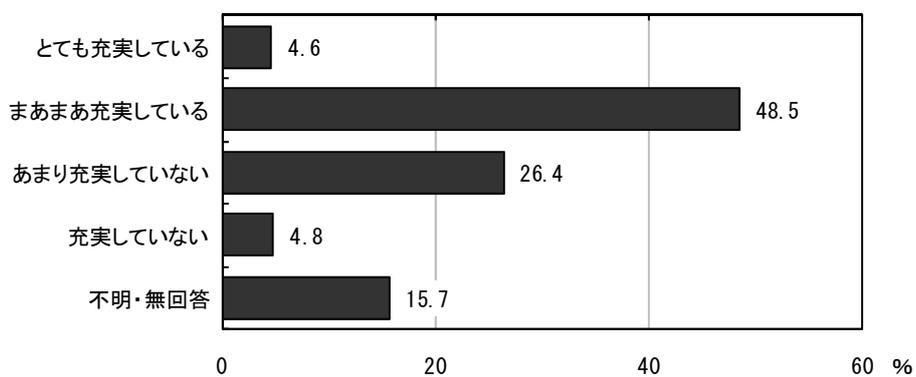


6. 保健福祉施策などについて

問 26 下野市の保健福祉施策（サービス）について、あなたはどのように感じていますか。
（SA）

下野市の保健福祉施策に対する評価は、『充実している』（「とても充実している」と「まあまあ充実している」の合計）が53.1%で、『充実していない』（「あまり充実していない」と「充実していない」の合計）の31.2%を上回っています。

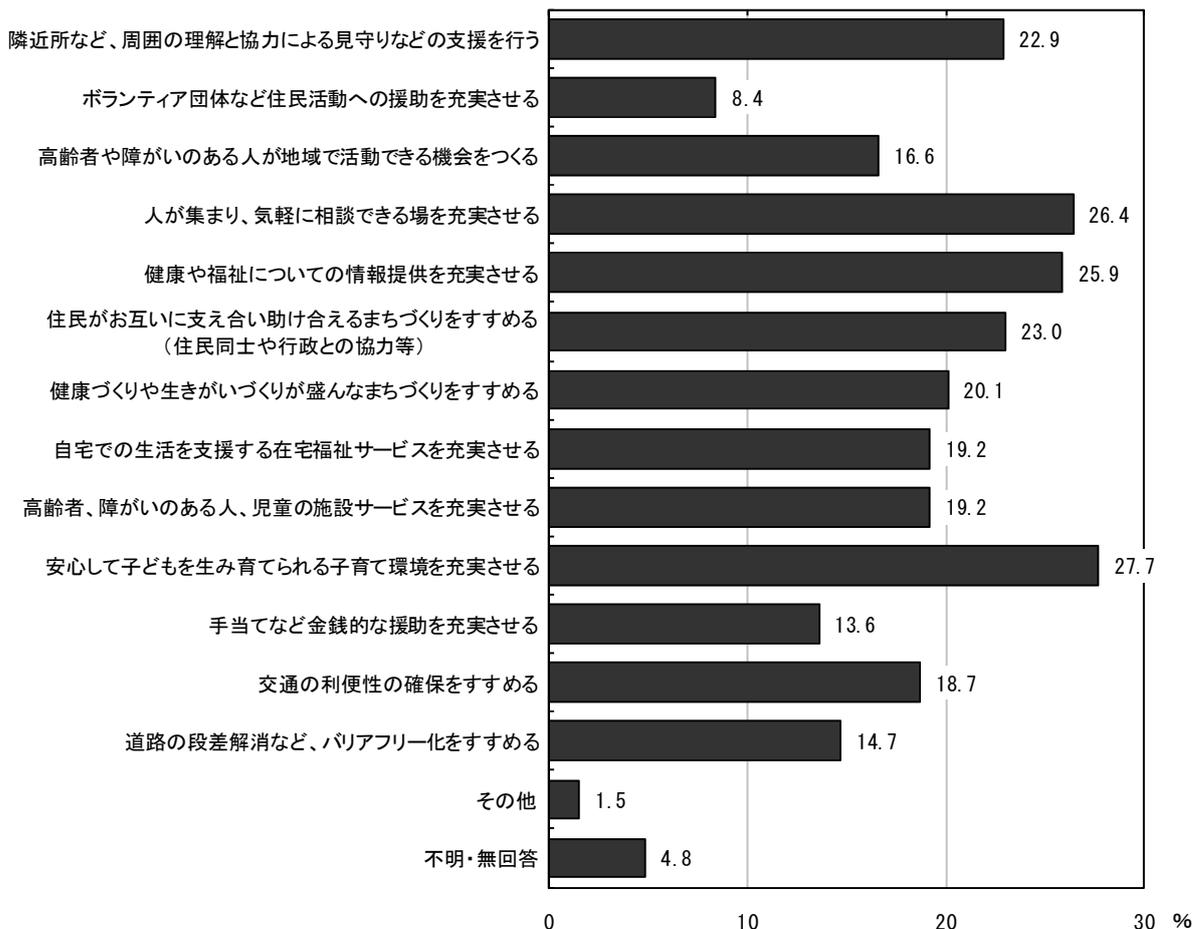
（SA） n=777



**問 27 下野市の保健福祉施策をより充実していくために、あなたが重要と考える取り組みは
どれですか。(MA)**

下野市の保健福祉施策の充実のために重要と考える取り組みについては、「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が27.7%と最も高く、次いで「人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる」が26.4%、「健康や福祉についての情報提供を充実させる」が25.9%となっています。

(MA) n=777



■問 27×年代別

年代別に見ると、10歳代では「高齢者や障がいのある人が地域で活動できる機会をつくる」や「健康や福祉についての情報提供を充実させる」が高くなっています。

20歳代～40歳代では「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が最も高くなっています。

50歳代では「人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる」が最も高くなっています。

60歳代以上では「隣近所など、周囲の理解と協力による見守りなどの支援を行う」が最も高くなっています。

上段：度数 下段：%	合計	隣近所など、周囲の理解と協力による見守り	ボランティア団体など住民活動への援助を充実させる	高齢者や障がいのある人が地域で活動できる機会をつくる	人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる	健康や福祉についての情報提供を充実させる	住民がお互いに支え合い助け合えるまちづくりをすすめる（住民同士や行政との協力等）	健康づくりや生きがいづくりが盛んなまちづくりをすすめる	自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる	高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスを充実させる	安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる	手当てなど金銭的な援助を充実させる	交通の利便性の確保をすすめる	道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる	その他	不明・無回答
10歳代	20 100.0	3 15.0	4 20.0	6 30.0	4 20.0	6 30.0	5 25.0	1 5.0	- -	5 25.0	4 20.0	5 25.0	1 5.0	3 15.0	- -	- -
20歳代	114 100.0	15 13.2	7 6.1	14 12.3	35 30.7	39 34.2	16 14.0	21 18.4	18 15.8	21 18.4	44 38.6	24 21.1	24 21.1	23 20.2	2 1.8	4 3.5
30歳代	110 100.0	17 15.5	8 7.3	8 7.3	29 26.4	23 20.9	24 21.8	19 17.3	18 16.4	26 23.6	61 55.5	29 26.4	17 15.5	17 15.5	2 1.8	- -
40歳代	125 100.0	21 16.8	10 8.0	19 15.2	36 28.8	39 31.2	23 18.4	20 16.0	19 15.2	27 21.6	45 36.0	19 15.2	30 24.0	20 16.0	4 3.2	3 2.4
50歳代	124 100.0	32 25.8	10 8.1	28 22.6	35 28.2	34 27.4	32 25.8	30 24.2	29 23.4	23 18.5	22 17.7	13 10.5	22 17.7	13 10.5	1 0.8	8 6.5
60歳代	118 100.0	39 33.1	15 12.7	21 17.8	27 22.9	35 29.7	36 30.5	29 24.6	25 21.2	20 16.9	23 19.5	10 8.5	17 14.4	14 11.9	1 0.8	4 3.4
70歳代	129 100.0	41 31.8	10 7.8	25 19.4	32 24.8	18 14.0	38 29.5	28 21.7	34 26.4	23 17.8	12 9.3	3 2.3	30 23.3	16 12.4	- -	12 9.3
80歳以上	37 100.0	10 27.0	1 2.7	8 21.6	7 18.9	7 18.9	5 13.5	8 21.6	6 16.2	4 10.8	4 10.8	3 8.1	4 10.8	8 21.6	2 5.4	6 16.2

■問 27×地区別

地区別に見ると、南河内中学校地区では「交通の利便性の確保をすすめる」が最も高くなっています。

南河内第二中学校地区では「健康や福祉についての情報提供を充実させる」が最も高くなっています。

石橋中学校地区では「安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる」が最も高くなっています。

国分寺中学校地区では「人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる」が最も高くなっています。

上段:度数 下段:%	合計	隣近所などの支援を行う	ボランティア実させる	高齢者や障がい者をつくる機会をつくる	高齢者がいる人が地域で活動できる	人が集まり、気軽に相談できる場を充実させる	健康や福祉についての情報提供を充実させる	住民がお互いに支え合い助け合えるまちづくりをすすめる（住民同士や行政との協力等）	健康づくりや生きがいづくりが盛んなまちづくりをすすめる	自宅での生活を支援する在宅福祉サービスを充実させる	高齢者、障がいのある人、児童の施設サービスを充実させる	安心して子どもを産み育てられる子育て環境を充実させる	手当など金銭的な援助を充実させる	交通の利便性の確保をすすめる	道路の段差解消など、バリアフリー化をすすめる	その他	不明・無回答
南河内中学校区	106 100.0	24 22.6	7 6.6	12 11.3	21 19.8	24 22.6	19 17.9	18 17.0	23 21.7	21 19.8	28 26.4	12 11.3	29 27.4	15 14.2	2 1.9	5 4.7	
南河内第二中学校区	164 100.0	37 22.6	16 9.8	30 18.3	42 25.6	58 35.4	36 22.0	34 20.7	28 17.1	26 15.9	43 26.2	17 10.4	38 23.2	19 11.6	3 1.8	10 6.1	
石橋中学校区	282 100.0	67 23.8	22 7.8	48 17.0	76 27.0	68 24.1	64 22.7	64 22.7	57 20.2	66 23.4	82 29.1	53 18.8	36 12.8	35 12.4	4 1.4	8 2.8	
国分寺中学校区	213 100.0	49 23.0	19 8.9	36 16.9	63 29.6	48 22.5	58 27.2	39 18.3	40 18.8	35 16.4	60 28.2	22 10.3	38 17.8	43 20.2	3 1.4	11 5.2	

7. 自由回答

○みんなで助け合い・支え合える地域をつくるために、何かアイデアがあれば教えてください。あなたができること、地域で取り組むべきことなど、何でも結構です。
そのほか、何かご意見などがあれば教えてください。

●子育てについて【11件】

・しつけと虐待の違いが人それぞれなので、判断が難しい。大声で怒っている親の声をたまに聞くが、どうすればよいのかわからず、そのまま何もしていない。

・年々、子育て支援がすごく充実しているように感じます。いろんなイベントに参加することができ、すごく子育てが楽しくでき、感謝しています。これからも子育て支援に力を入れてほしいと思います。

・これから子どもを出産し、育児をしていこうと考えている者ですが、現在笹原から国分寺小学校まで、大人の足でも片道45～50分かかりました。通学路も大変危険な農道(暗い道)で心配です。(子どもの足だと何時間かかるか、わかりません)学区の見直しを是非ともお願いしたいと思います。笹原からですと、自治医大付近の小学校の方が断然近いし、通学路も安心です。「学区の見直し」のご検討をどうか、よろしくお願いします。

・保育園の預かり(休日も)をお願いしたい。(サービス業で働くこともあるため)

・石橋地区に病後児保育の施設をつくってほしい。

・近くに頼る人がいない人の子育てに関する相談場所。

・保育園の所在地が偏りすぎている。0歳児では中々入れず、仕事に復帰できないのでよい対策はないか。働きながらも、安心して子育てができる環境を増やしてほしい。

・親戚・知人にあまり頼れず、夫も不況で仕事が忙しい中、ひとりで子育てをしてみて、改めて大変さを思い知った。「こんにちは赤ちゃん事業」や電話で気軽に行える育児相談、子育て支援センター等はとても心強くてありがたかった。今年度、子育て関係についてインターネットで得られる情報が増えたのはよかった。周囲にも同じような状況で子育てを頑張っているお母さんがたくさんいる。男性の育児休業取得も含め、昔とは違う日々追いつめられた状況で子育てをしている方が少しでも救われる環境になるとよい。

・母親の具合が悪くなったとき、子どもを見てもらふ施設や家まで来てもらえるボランティアさん、ベビーシッターさんなどを広報で教えてほしい。近所の友だちも含め、困っているときにどうしたらよいのか、わからない。(困ったことがあったため)

・私は子育て中、子どもが寝ている間に買い物に行きたいけれど、一人置いていくわけにもいかず…。そんなとき、誰かが見てくれるシステムがあったらと思いました。(昔は近所で気軽に声をかけ合い、助け合ったのでしようが)また最近では買い物中、生まれて間もない、首もすわっていない赤ちゃんを片手で抱いて買い物をしているお母さんを何度か見ました。そんなとき、ちょっと手を貸したくなるのですが、足利市でも骨を折られてしまう事件が起きたりと善意のつもりで声をかけても、冷たい目で見られる経験をしました。だから市で認められた人材を育成し、手助けする

側も怪しまれず、手助けされる側も安心して手助けしてもらえる地域ができればよいと思います。子どもが寝ている間、外出するときなど、ちょっと見てもらえたら助かるというお母さんも多いのではないかと思います。これは近所付き合いを深めれば解決できることなのかもしれませんが。そうすることにより、母子の煮えきった関係が風通しもよくなり、余裕が生まれて虐待防止に少しでもつながるのではないかと思います。

・保育所の預かり時間を最大 20 時まで対応するようになっていただけると、共働き家庭はとても助かる。上で記入した方法や直接保育所がする等、土日の預かり保育があるととても助かります。実現よろしく願います。

●高齢者について【11 件】

・高齢化が進んでいる現在、寝たきりにならないように体操や食事などの栄養に関係することを研修する場をつくってほしい。

・常に感じていること。

①隣近所との交流がない。

②老人クラブに入っているが、組織が大きすぎて意思の疎通がよく図れない。近くの人たちと親しくしていきたい。

③高齢者の方々が外に出て、楽しく集える場とリーダーがほしい。

・現在、市内に高齢者介護施設がどのくらいあるのか。その施設の利用状況はどうか。また利用した場合の経済的負担はどのくらいかかるのかを知りたい。

・高齢化は日増しに進んでいる。高齢化に対する対策も言葉の上ではよく聞けるが、現実化しているとは思えない。(実感できない)

・私の住んでいる町は旧南河内町のグリーンタウンに住んでいます。私が引っ越してきた 15 年ほど前は小学生などの子どもたちが多かったと思います。今現在はこの町に住んでいる子どもの数は減少し、あと 20 年も経過するとグリーンタウンという街自体が大きな老人ホームのような街になっていくと考えます。これはグリーンタウンに限らず、下野市全体にいえることだと考えられます。自治医大病院があるとはいえ、それだけでは高齢者には心配なので、誰でも利用できる充実した制度をつくってほしいと考えます。

・今後、高齢化社会を迎える中で高齢福祉を充実させることは行政の破綻につながると思います。児童福祉はある程度の制限のもとに必要だと思いますが、高齢福祉は切り捨てるべきだと思います。なお高齢福祉は交通機関の充実のみで対応すべきだと思います。それも生産年齢人口向けの交通機関の充実を図って、結果的に高齢福祉にもなるものが必要だと思います。当面は生産年齢層は自家用車で移動できますが、中長期的将来は所得の減少、エネルギーの高価化等により、1人1台の自家用車の時代が終えようと思われるため。なお高齢者向けの循環バス等は行政負担が増加して、行政負担が増えるだけで継続が困難になることが想定されます。

・親子同居のとき、家族だけで介護をするのは 100%無理だと思います。でも家族がいると優遇されにくいと聞いています。自宅では仕事や子育てもあり、その旨をよく理解していただければ幸いです。

・地域で高齢者などに対して、どのような見回りをしているのか、いまいわかりません。町の中

心部などは店もありますが、外れの方はなく、私たち若い者は車で買い物に行けたり、ネットで購入したりとできますが、高齢者の方は難しいのではと思っています。押し車を暑い中、寒い中押して、休み休み歩いている方を見ると心配になることがあります。買い物代行サービスや店の少ない地域にトラックなどで食料から生活雑貨を売って回るなどのサービスがあればと思います。

・市で特養老人ホームなどを整備し、老人介護の拠点をつくる。民間や病院のように費用がかからない施設とする。

・高齢者の自治会活動(役員)が負担になっているようなので、何とかならないかと思っています。(負担の少ない自治会活動はできないものでしょうか)

・茨城県に比べ、栃木県は高齢者向けの施設が少ない。民間業者が参入しづらい、何らかの理由があると思われる。市のレベルではなく、県政の問題と思うが、改善を期待したい。

●障がいについて【6件】

・つい最近、考えることは段々と年齢も高くなり、健常者との交流もなく、施設と親だけで何にもできない障がい者はどのように生きていけば、その子のためになるのか。多分、同じ年齢の子たちはもう忘れてしまって、同じ学年のときのことをどんな風に思っているのか。また仲間をつくってあげたいと思う。

・精神障がい者への差別と偏見をなくすために、啓発をお願いしたい。また当事者は9割以上が引きこもりや社会とつながらず、また家族とのトラブルも多い。家族支援に対し、真剣に考えてほしい。

・障がい者の立場を考えてもらいたい。提出する書類の多さや、それぞれ窓口が違い、それぞれの課に行くのが大変。タクシーを使って市役所やきらら館に行くようではタクシー券が足りない。窓口での対応の悪さや質問をしても答えられない職員がいる。

・自治医大学病院正面の信号が青のとき、あと5秒だけ長く青にできないでしょうか。足のケガになると、この気持ちをわかってくださると思うのですが、とても気持ち的にありがたい長さです。

・我が家にも目の不自由な家族がいるのですが、特に市の方から連絡とかは何もないので、毎日家にいるしかなく、もっと外へ出かけられるような環境をつくってほしい。

・障がい者に対する理解と協力を求めるためには、教育の場で取り上げていただけることが1番だと考えています。特に自閉症の子どもには接し方でよくも悪くもなります。まずは障がいを理解してもらって、地域で交流のできるまちづくりを進めていただきたいと思います。

●ボランティアについて【4件】

・下野市として、多くのボランティア団体・グループがあり、自主的に活動を進めていますが、ボランティア会員の拡大に頭を悩ませていると思います。元気な人がそうでない人に対し、できることをお手伝いするという考えで参加させていただいています。(月に8回くらい、高齢者の人に集まってもらい、1日お世話をしている)ボランティア活動に対する理解、そして活動に参加してもらえよう、これからも進めていきたい。(私自身もいずれはお世話になるであろう)更なる行政の取り組みに期待したい。

・私たちの地区では毎月1回、公園の掃除をしているが、隣近所の人たちと最低でも月1回短時間ではあるが、コミュニケーションが保てることは非常によいと考えています。

・ボランティア活動について、資金援助がないとできないと聞くと、そのような活動なら本来のボラ

ンティアではないと思う。互いの持ち味を出し合って形成すべきである。高齢化、ボランティア活動は市民一人ひとりの心の持ち方である。それを知識や知恵でバックアップするのが行政であろう。資金援助がないとやらないというのは筋違いだ。

・ボランティア活動は自由意志によるものです。無給の社会奉仕は強制することがないようにお願いします。またワークシェアの観点からも、有償のボランティアを充実した方がよいと思います。その方が長続きするのではないのでしょうか。

●防犯・防災について【3件】

・被災地域への援助物資等の提供など、役所からの情報をお願いしたい。

・下野市に要望として、埼玉県のある市では火災探知機を無料で住民宅に配って、設置を充実しています。温泉や遊び場づくりも大切ですが、国民に義務付けられるこうした機器の提供こそ、一番にすべきです。また、これだけインターネットが広がっているのですから、市の配布書類をネット配信での希望を募り、紙資源の無駄を少なくすべきです。

・日中働く人が増え人がいないし、家の前を通る人がいると悪い人ではないかと疑ってしまうときもある。また子どもの連れ去りや安全など、自由に遊ばせられるところか、安心なデパートへ行ってしまう。

●インフラ整備について【36件】

・私の住む地域は小学校区で一番離れている地区です。子どもが小学校へ通うとき、登下校中に何かあったらと思うと不安です。スクールバスを導入している市町もあるため、道路を整備するか、見守り体制にお金を使うのであれば、小学校のスクールバスを考慮していただけると、とても安心して生活ができると思います。

・ボランティア活動、および地域活動内での除草や枝切り、清掃活動等にて発生する一般廃棄物の処分が困難である。市営のリサイクルセンターを早急に建設してほしい。ボランティア活動等におけるのゴミ処分は無料で受け入れる、もしくは報酬を与えるくらいでない地域活性化にはつながらないと思います。

・ふれあい館のまわりにたくさん土地があるので、3町が合併して平等に取り合ってほしいです。ゆうゆう館、きらら館ばかりでなく、お願いします。

・高齢のため、買い物難民が私を始め多くなっています。今まで車や自転車等を乗っていた方々が膝や腰の痛みが気になり、家族に負担をかけることになっていきますので、ご無理と思いますが、小回りのできる市営バスなどはどうでしょうか。設備をお願い申し上げます。

・石橋の体育館より大きい施設の提供をお願いします。

・交通の利便性(特に市内巡回バス)。

・自治医大駅にエレベーターを早急に設置してもらいたい。医療のまちと称しているのに、老人が階段で苦勞しているのを見ると悲しくなる。車で通院している人ばかりではないのです。区画整理・土地改良など、一部の関係者しか受益しない金を使用するより、公共性のあるものを最優先に考えるべきではないか。

・施設の増加を早くしていただきたい。定員が少なすぎます。他の施設にも自由に移動できるようにしていただきたい。

・市になったので、小金井の保育所でもよいというが、住んでいるのは石橋。小金井までは遠い。

<p>スムーズに石橋の保育園に入れるようにしてほしい。仕事をはじめたいが、グリム保育園は中々入れないと聞き、他にもいろいろと聞く。保育園を選べるよう、グリムの他にも保育園があるととっと子育てしやすい。グリム保育園はトイレトレーニングで男の子に女の子のパンツを履かせると聞きましたが…。うんちをしたときにトランクスではうんちが漏れるからですか。ひとりで見ているわけではないし、それも保育士の仕事だと思いますが。</p>
<p>・新庁舎はいらない、今のままでよい。</p>
<p>・新しい市役所の建設は不要。人口が大幅に増加する見込みがない。3ヶ所に存在する旧町役場で十分機能しており、不便を感じない。</p>
<p>・私の住んでいる地域は40年くらい道路を広くするようお願いをしていますが、未だに解決していません。申請をしても、これからどうなるのでしょうか。消防車も救急車も入れない道ではとても心配です。福祉と同じく、人が安心して暮らせる取り組みがもっと必要なのではないのでしょうか。</p>
<p>・最近、緑が少なくなっている。公園などの木陰はとても“ホッ”とするでしょう。街中にももっと木陰にベンチなどを置いて、立ち話ではなく、歩き疲れたときに腰をかけて話せるとよい。近所との関係も深まるのではないか。見た目にも心安らげることでしょう。一考をお願いします。</p>
<p>・市になってから交通の便が悪く、年を取るにつれ車や自転車等が無理なとき、特に石橋のきら館等には行くことができません。市のバスをもっと利用できる方法を考えてほしい。今、ボランティアをしています。車に乗れないため、中々行くことができません。</p>
<p>・街路樹を坊主にしないでほしい。(今一番の不満です)ケヤキを街路樹にした主旨は何だったのか、住民は納得して住んでいるはずですが。</p>
<p>・ふれあい館を上三川のいきいきプラザのような施設にしていただけたらと思います。(大人が通いたくなるような運動施設と福祉の施設が合体した場がほしいです。県南体育館や鹿沼フォレストアリーナのような)使用のために市外に人が流れています。</p>
<p>・最近、祇園から医大前に引っ越してきました。祇園地区には公園・広場・散歩道があり、近隣の人たちと顔を合わせる機会が多く、そして子どもたちを見守る親の目が防犯にもつながっていたように思われました。医大前は駅前ということもあってか、なかなかホッとするような広場・公園・小道が少ないように思われます。できることならば、ポレスターマンションモデルルーム跡地、または周辺の駐車場あたりに公園・広場をつくっていただくと大変うれしく思います。駅から降りて素敵な緑があると、とてもよい街に見えます。何卒、よろしく願い申し上げます。</p>
<p>・砂利道は救急車がきても狭くて入らず、非常に難航しました。何とかならないのでしょうか。</p>
<p>・グリムの館は立派な建物だけに、利用者が少ないのがもったいない。もっと人が集まる工夫をしたり、オシャレなカフェを出したりするとよいのに。</p>
<p>・小山市に住んでいる友人が「石橋駅はベビーカーでも、エレベーターがあってよい町」だと言っていた。(小山市は駅員に頼んで、手伝ってもらわないとできないらしく、言っても使えない駅員が多いらしい)</p>
<p>・ゆうゆう館、きら館、ふれあい館へのバス・車がほしい。</p>
<p>・図書館が町内にないのが残念です。</p>
<p>・①高齢者・障がい者の場合、ごみ処理に悩んでいます。近所に空地があり、4～5軒で借りて(勿論、金銭・掃除は各自で出し合う)とのお願いをしましたが拒否された。</p>

②老いていく者にとって、近くに何ヶ所かできることを願う。
・自治医大駅の構内ではなく、外にエレベーターを設置してほしい。(大変不便に感じます)
・既存施設のメンテナンス。
・前の道路について、谷地賀田川橋を下りて、東に向かうと道に筋の入った割れ目があります。大型トラックがガラクタを乗せて通ると、大きな音とたまに大きな板などを落としていく。夜更けとともに目を覚ますことが度々ある。
・小山用水路の土手が汚いので、きれいにしてほしい。
・犬のフンが目立つので困る。(看板を多くしてほしい)
・まず庁舎の建て替えの理由がまったく伝わってこない。建て替えには反対です。このような地域福祉のアンケートにより、各地域や団体の活動を一番に考えているのなら、まずこれをやってから庁舎を建て替えるべきである。庁舎を建て替えても、まったく地域福祉はよくなるし、市民と職員との溝も深くなってしまいます。
・新庁舎建設については起案した当初より経済的にも諸事情も一段と厳しくなっている。従って、計画の縮小or延期など再考すべきではないか。建設のメリット・デメリットも納得できるような情報やデータは示されていない。願わくば、栃木県の教育行政は他県に優れるものではない。子どもの教育の将来のために50億(建設費など)を建設的に使ってほしい。
・福祉課には関係ないかもしれませんが、児童手当を満額にするより、先に学校の教室にエアコンを取り付けた方がより子どもたちによいのでは。税金の使い方をもっと考えて。
・コミュニティバスではなく、有料でよいので(路線バス)小金井駅行き・自治医大駅行きのバスがあると助かります。(通勤・通学の時間帯だけでも)
・現在、粗大ゴミは連絡して近くのゴミステーションに出すことになっていますが、高齢者や車のない人は粗大ゴミを運ぶことも困難なので、自宅前に取りにきてほしいです。
・長年住んでいて、最近残念に思うことがあります。生活道路は舗装され、田畑に囲まれ静かで近所の方もよい人たちですが、下水がないのは残念。雨が降ると川になり、舗装道路が水溜り、小学生の孫が歩けない。また晴れの日には農家の方が機械で耕し、機械についた泥の塊を道路に置き去り、乾燥して車が通るたびに土ぼこりで困っています。農家の方にこの泥の塊を片付けるよう指導してほしいです。
・週2日くらい、各支所をまわる車を出してほしい。高齢者で運転免許を持たない者は地元支所以外に行かなければならないときの交通手段として、巡回車等があると助かる。
・しもつけ道の駅、楽しみにしていますが、直通バスが市内を廻っていただけるとよいです。
●住民のモラル・マナーについて【5件】
・この町の住民はよそ者をなかなか受け入れない。
・農家では今でも普通に自宅の庭で「ゴミ焼き」をしている。(迷惑)
・道路・駐車場等にコンビニで買った食べ物や飲み物をそのまま捨てておく人が目につきます。どういふ人が、どういふ気持ちでそこに置きっぱなしにしていくのか気が知れません。これは1つの例です。地域でのごみ捨ては条例で罰金なんていうのも「1つの手」かとも思います。
・昼夜問わず、駐車マナーが悪い。地域住民間の関係が希薄しているのが、よく表れている。交通マナーは警察の仕事だと考えず、地道な広報活動も必要だと思う。

・最近の大人たちはとても自分勝手に感じます。運動会の花火がうるさいので中止しろ、なんてことを言い出す人がいるそうです。だからといって簡単に中止するのもおかしいと思います。つまらないことだと思います。でも今更、大人になった人のことを注意したって、その大人は変わらないと思います。これから大人になっていく子どもたちには学校で思いやりや常識などを教育に取り入れてほしいと思います。学校で教えることなのか、少し疑問ですが、集団の中で学べることはたくさんあると思います。

●医療について【2件】

・子どもの医療費の立替え制度は無駄である。(銀行への振り込み手数料等がかかるため)もっと利用者の立場を考え、他の県や市を見習っていただきたい。

・去年、新型インフルエンザの予防接種の際、近所の開業医から「かかりつけ」でないからと断われ、他市で接種した経緯があります。幸い健康で普段通院することがありません。近所で接種できるよう検討してください。

●地域づくりについて【19件】

・町の活性化、つまり商店街のより一層の活性化を望みます。車で出かけなくても、歩いて買い物に行けることができれば、大変助かります。

・各支所にて年/2回くらいチャリティーバザー等を行ってはどうか。各家庭に祝儀でいただいたものや、使わない宝物を互いに持参し、チャリティーとしてのそ収益金を寄付する。また、いろいろな方と話をしたり、交流も図れると思う。

・自分自身が現在、精神的な病により、エネルギーが持続せず、生きるのが精一杯で人さまのお役に立てず、切ないです。同じ病気の人たちとの交流の場があれば、本音で話し合い、気持ちが和むのではないかと思うときがあります。

・恥ずかしいのか、挨拶をしない小学生が多いです。挨拶を誰にでも行うことが地域の支え合いの大事なことだと思います。元気のよい小学生の挨拶が聞こえる地域は、誰でも挨拶を返してくれるよい地域だと思います。そのような風潮が地域を明るくして、助け合おうという心を育てると思います。

・地域活動(自治会の活動等)に生活を合わせるの難しい。サービス業のため、土日に関係なく仕事をしている。そのため、地域活動に参加できない。今後、サービス業人口は増加すると思われる。また共働き(夫婦ともに正社員)のため、どちらか一方が地域活動のスケジュールに合わせることも難しい。そういった状況の家庭への理解を希望する。職業や環境は多様化しているのに、地域活動のスケジュール、またはそれに付随する考え方・付き合い方が限定的であるように感じてしまう。

・最近新しく引っ越してくる人も多く、近所に誰が住んでいるのかも、よくわからなくなり、プライバシーの問題から詳しく知ること難しくなっていると思います。近所の家族構成さえ、わかりません。どこまで踏み込んでよいのかも考えてしまいます。それから社会福祉とは関係ないのかもしれませんが、動物愛護にも下野市として力を入れてほしいです。殺処分を減らしてください。また避妊・去勢の助成金もできるようになるとうれしいです。

・駅前など、全然お店がないため、外の県から遊びに来て、お土産を買うことができずに困っています。

<p>・運動会やイベントなど、すべてを仕方なくやっている人が多い。盛り上げるのは司会者なので、そこはしっかりとしたプロに頼んでもよいくらいだと思う。仕方なくやっているイベントは参加してもつまらない。</p>
<p>・下野市は病院が多く点在し、安心して暮らせる地域です。それだけに心の中では何かあれば病院への考えが定着し、ボランティアなどの手助けは私自身、考えていませんでした。しかし年を重ねるごとに、人々の助けや人とのつながりを考えるようになり、私も地域活動への参加も少しずつ考えるようになりました。</p>
<p>・引っ越してきたばかりなので、まだ下野市のことはよくわかりませんが、地域力を高めるのは大切なことだと思います。“情報収集→行動”できるようにと考えています。</p>
<p>・下野市には空いている土地・使っていない家(もちろん個人所有ですが)がたくさんあります。それらを使って、人を呼び込む工夫はできないものでしょうか。地域を活性化し、人口を増やす観光(外国へのアピールも含め)・イベント・宿泊(日本の農家へ泊まる・農業体験をするなど)等は考えられないのでしょうか。それから海外から観光を兼ねた人間ドックツアーなども盛んに行われているようですので、せっかく素晴らしい医療機関があるので、市にもたくさんの医院があるので、そういったことを全面に押し出して人集めをするというのはどうでしょうか。</p>
<p>・各地区に「班」が設定されている。ひとつのコミュニティが形作られている(人とのつながり)が班には入りたくない。面倒だから、班長が嫌だからが主な要因のようだが、ゴミは出すし、口は出す、その後始末は加入者がやっている。班(自治会)未加入者が25~30%にも達している状況の中で地域づくり、人との絆などといっても困難な面もある。地域の問題とはいえ、行政としての何らかの加入促進対策を考えるべきだ。地域の崩壊になりかねない。</p>
<p>・地域内の交流の機会がほとんどないが、ボランティア等もやれる時間のある人が少なく、問題だと感じている。よい解決策は思いつかないが、心に余裕がなければ、このような地域活動は難しいと思う。</p>
<p>・今は仕事が忙しいので、中々地域活動に参加できずにいますが、定年後はいろんな活動に参加したいと思います。</p>
<p>・自宅のまわりや近所の清掃など、できることをすれば地域も人間関係もよくなると思います。</p>
<p>・昔のようにお節介者がいないのは残念。声かけが何よりもありがたい。</p>
<p>・参加したくなる行事の開催をするため、地域住民へアンケートを実施してはどうか。人が集まれば何かはじまると思います。</p>
<p>・市民の皆さんの健康と地域交流の場として、朝のラジオ体操を市の運動の1つとして進めてほしいと思います。</p>
<p>・最近、高齢者が人知れず亡くなっていることがよく報道されていますが、それはあまりにもプライバシーのため、行政でも地域住民に知らせがないので、助け合えないところが多い。普段から周囲に声かけをして、高齢者でも健康と生きがいづくりのために集まれる場所・公園等をつくっていただきたい。</p>
<p>●アンケートについて【10件】</p>
<p>・このアンケートが今後どう役立つのか。アンケートの意図がまったくわからない。もう少し質問の内容を検討した方がよいと思う。今後役に立つために行うアンケートであるのならば、もっと専門</p>

<p>的知識のある人が作成しないと意味がないと思う。</p>
<p>・このアンケートは社会福祉計画策定のために行っていることを理解して記入したが、税金を原資に活動することを考えると、全事業に対する費用の使い方を見直した上で、配分された予算で市民が思う社会福祉の内容ができるのか。できなければ、その理由を明確にし、市民に理解を求めて税負担をしていただければよいと思う。</p>
<p>・普段はそう深く考えていないので、アンケートといっても中々難しかったです。でも考えるには、よい機会でした。</p>
<p>・問1～問6の質問は個人を特定できる項目だと思えます。(必要なのですか)せめて問1・2でよいのでは。世帯の中の誰がアンケートに答えてもよいのではないのでしょうか。その一点について、趣旨が理解できません。</p>
<p>・行政がこのような形で調査をすることは大変よいと思います。</p>
<p>・このようなアンケートを取り、実態調査に用いることはよいと思うが、役所の中で満足するのではなく、寄せられた意見やアンケートの結果等を広報しもつけ等に公開していただき、さらに多くの意見等を出し合って意見交換会等をしてほしい。市長が掲げる「住んでよかったしもつけ市」にしたい。「住んでよかった」と思えるためにも、抽象的な言葉ではなく、具体的な行動指針を明らかにして公開していただきたい。</p>
<p>・手作業での集計作業、ご苦勞様です。マークシートにしてはいいが。</p>
<p>・私のような高齢者にこのようなアンケートは無理と思いました。</p>
<p>・アンケート内容が漠然としていて、答えにくい。このアンケート結果が計画策定に反映するとは思えない。せっかくのアンケートを2,000名に依頼するのであれば、内容の細かい充実したものでないと意味がないと思う。こんな内容のアンケートではお金の無駄使いだと思います。</p>
<p>・問26について、充実しているかどうかわからないため、どれに○をつけてよいか…。</p>
<p>●行政への要望などについて【32件】</p>
<p>・市役所の人数が多すぎるので、もっと減らすべき。</p>
<p>・職員なのか、質問をしても答えられない人が多く、また違うところに電話等をして聞かなくてはならず、もっと自分の仕事を理解してほしい。(プロなのでしょうから)</p>
<p>・一般企業は給料が下がり、ボーナスがカットになっても、公務員は下がらないので危機感がない。今の社会情勢とあうよう、民間の平均とすべき。</p>
<p>・ハコモノ行政を自粛し(下野庁舎の建設を中止すべき)、市民生活を優先する(税金等を低くする)。三役の報酬を削減する。市職員の対応が悪い。</p>
<p>・一人ひとりが可能な限り、身体的・精神的に自立し、自分の足で立っている実感と自信がもてる社会的なサービスの充実が必要だと思います。これだけが福祉の充実と一つに限定するのではなく、多面的に社会のしあわせを考えるべきだと思います。</p>
<p>・今年4月に福祉タクシーのチケットを貰いに行ったが、窓口の対応が悪かった(男性)。アンケート調査もよいが、職員の指導も徹底した方がよいのではないか。</p>
<p>・無駄な費用や出費をカット。</p>
<p>・税金を下げる。</p>
<p>・民生委員の定年制(70歳)を導入せよ。活動内容が不明で単に報酬のみを得るだけの委員でよ</p>

<p>いのか。また選挙時に特定の者が応援しているようだ。(公選法違反)</p>
<p>・施策には財源が重要であります、新しい地域は年代層が同じで15～20年で子どもたちは出てしまい、高齢者比率が急速に高くなってしまふことをしっかりと踏まえて取り組む必要があると思います。私の出身地、埼玉の中部では高齢者ばかりの昔のニュータウンが大変増えています。こうなると財源も減り、何にもできなくなってしまいます。</p>
<p>・道路のバリアフリー化はとても大事でよいことだと思いますが、実はもっと小さいことで他人の目には見えないようなところ(こと)で不便を感じている人が多いのではないのでしょうか。家の中でのことだったりするので、私たち一般人には見えません。「行政」という立場を利用(?)し、大事になる前にお節介をしてほしいと思います。もちろん「行政」任せではなく。</p>
<p>・核家族が増えていることと、景気の低迷により、他人(地域)に目を向けていく余裕がなくなっていると思う。今、自分自身は何とか生活ができていますが、今後は地域や行政の方に支えてもらうようになったとき、どこに相談しにいけばよいのかわからない。もっと情報をわかりやすく発信してもらいたい。</p>
<p>・困っている人への支援については金銭的な支援ではなく、人の手での支援がよいのではないのでしょうか。困っている人を助けてあげたいという気持ちもありますが、いろいろな手当の不正受給等も聞き、不信感をもっていることも事実です。余裕があつて税金を払っている訳ではありませんから、少しでも税金を有効に使ってもらえるように、行政にはそのあたりの見極めをしっかりと行っていただきたい。よろしく、お願いします。</p>
<p>・広報紙で活動を報告するだけでなく、足を使って地域住民と密着した活動を積極的に行つてほしい。</p>
<p>・私たちが一生懸命働いて納めている税金です。無駄にすることなく、本当に大切に使ってください。</p>
<p>・市の顔が見えるよう心がけてほしい。広報紙にて毎月各担当部署で働く人の顔写真を載せてほしい。市で働く人は私たちの税金で働いているので、個人情報保護法の対象にはあたらないのでは。毎月、市長のコメントを市民にあてて、広報紙に載せてほしい。そして、どんなことをしているのかを知らせてほしい。</p>
<p>・本当に困っている人を助け、援助してほしい。市民ができるだけ自立し、行政の世話にならずに生活できるよう、努力するべきである。 市職員や他の方の守秘義務を徹底してほしい。</p>
<p>・福祉の充実と市の活性化は同じレベルである。まず市の活性化を考えるべきではないか。</p>
<p>・下野市は福祉に関しては、他の市町村より充実していると思います。特に国分寺がよかったからですね。民生委員って、本当に働いていますか。名ばかりではないでしょうか。小中学校などを見学して、どのように子どもたちが生活しているのかを見てほしい。(抜き打ちで)いじめや無視などはないか。</p>
<p>・福祉サービスの名のもとに明らかに健康と思う人を送迎付きで対応されているのを見てビックリしましたが、そのようなことがないように十分に検討し、サービスにあたってほしいものです。</p>
<p>・市役所の福祉係の窓口対応がすごく親切で、すごく指導されていると思います。</p>
<p>・GT地区は他所から移り住んだ人が多く、下野市内でも地域愛は少ない地域に思われます。地</p>

<p>域に恩を返す、地域の子どもたちのために老後の時間を使うという考えの大人はご近所には少ない(いない)と思う。老後は自分の趣味に使いたい。こちらから挨拶しなければ知らんふりをして、ご近所の年長者の方などは子育て等で精一杯の若い世代のお手本とは言い難い。それぞれ自分に関する事で手一杯という現状を変える方法を考えないと、行政のいう地域の助け合い・支え合いは単なる理想にしかすぎないものになってしまうと思います。</p>
<p>・実際に利用する人たちを第一に考えてほしい。市になってから、少しずつ住みにくくなっているように感じられる。</p>
<p>・自治会の内容が不明なため、移転者に教えてほしい。</p>
<p>・活動づくりに税が必要ならば、現在の投入費+目的税でまかなうが、あくまでも目的税は他の目的には使用しない。</p>
<p>・市役所関係の職員さんたちは笑顔がなく、挨拶もなく、とても行きづらいです。住民に何かを要求する前に、自分たちの給料がどこから出ているのかを考えていただき、そこから意欲をみせていただきたいと望んでいます。増税等で負担を増やす前に市役所から見直しをお願いしたいです。よろしく、お願いします。</p>
<p>・私たちの班は11軒、9軒がひとり暮らし、または夫婦2人暮らしです。行政は班単位での年齢構成や家族構成を把握することが重要だと思います。そして必要があれば、プレハブでもよいから、皆がいつでも話し合える場所を提供してもよいのでは。</p>
<p>・職員の態度、対応が悪く、仕事に熱意がない。仕事1つするにしても、他の課や係とたらい回しにしてしまう。やがて他の部や課に移り、責任がない。市になってから公共施設が荒れてしまった。職員自ら、休日を利用して清掃・整備の見本を示し、地域住民に訴えてほしい。</p>
<p>・福祉行政の現況がよくわからない。独居生活のため、何かあったときにどうしたらよいのか方法がわからない。</p>
<p>・年金生活者に税の負担は生活に大きく響きます。市の方もできる限りの合理化をこれからの高齢化社会に向かって一層のご努力をお願いします。</p>
<p>・私は77歳の高齢者で妻と2人暮らしをしており、借家住まいです。収入もなく、国民年金(60歳で受給)ではとても生きていくのが大変ですが、今までやりくりしながら生活をしてきました。生活保護を受けなくてはならないようになるのですが、その方法もわかりません。是非教えてください。何らかの方法を知りたいのです。</p>
<p>・広報を見ることができない。アパートには配らないのですか。アンケートはよいことだと思います。</p>
<p>●その他について【19件】</p>
<p>・ふ…ふつう く…くらせる し…しあわせ とても、よい言葉だと思います。</p>
<p>・下野市に住みはじめて、もうすぐ1年になります。これからも安心して暮らせるよう、明るいまちづくりに頑張ってください。大変ですが、よろしく願いいたします。</p>
<p>・当地に住んで10年程ですので、地域の状況が十分にわかっておらず、今後時間をかけ多面に</p>

<p>渡って、多くのことについて理解できるようにしたい。現在はいろいろなグループに参加し、多くのことを学んでいます。</p>
<p>・頑張ってください。</p>
<p>・地域によっては小学・幼稚園に通う子どもたちの姿が見えなくなってきた。子ども手当よりも、町全体の婚活を進めよ。</p>
<p>・高齢福祉課から敬老祝金贈呈の案内が届いたが、足が悪くて会場まで行けません。土日なら家族に頼めるのですが、1時間でも開館できませんか。</p>
<p>・福祉活動についても同様であると思われる。</p>
<p>・自分たちのことなので、それこそ自分たちで解決するという考え方を醸成する。何でも行政に頼るという考え方はそろそろ改める時代になっていると思う。昔、地域の人たちの協同作業で道路に砂利を敷いたころのような考え方を育てることが必要。</p>
<p>・居宅介護でおじいちゃんが大変お世話になり、介護の手助けをしていただきました。言葉の“思いやり”をたくさんかけてもらい、頑張ることができました。とても素敵な出会いが我が家を支えてくれました。変わることのない市長の心が市を豊かにしてくれているんですね。頑張っってよい市にして、私たちも応援していきます。</p>
<p>・理想としては、皆で助け合い・支え合える地域づくりは必要不可欠であると思いますが、個々の家庭環境や健康状況も違い、最終的には自分のことは自分で守るという各自の責任をもち、他人に迷惑をかけないように努力しなければならないと思います。</p>
<p>・75歳を過ぎて運転をしていますが、買い物や医者に行くのに返納することができない。</p>
<p>・今の人は何事につけ、個人の責任とは考えず、あれもこれも行政の責任にしようとする傾向があると思いませんか。人間としての基本的な生き方をもう一度考え直すことが必要です。行政に携わる人は公僕としての自覚を十分にもって、ことにあたることは申すまでもありませんが。生活の基本はあくまでも自己責任にあることを皆が自覚すべきではないでしょうか。何もかも行政に頼ることの是非を改めて考え直す機会だと思います。</p>
<p>・私が死亡した場合、長男夫婦に多大なる金銭的負担をかけるのが大変心配です。というのは昨年母親が死亡したとき、お寺に105万円もお布施を要求されました。付き合いも少ない我が家ではこの支払いに四苦八苦ししました。キリスト教にでも入れればよいのでしょうか、長年の因習があることゆえ悩んでいます。何かよい解決方法があったら教えてください。</p>
<p>・野良犬が出てきたので、見回ってほしい。</p>
<p>・今まで、この程の分野について関心がなく、反省しきりとの感がします。自治医科大学病院をコアとして、発展してきた地域ですので、医療とか福祉のモデル的な地域社会をつくるのが重要な課題です。地方自治体のOnly Oneとして全国の先駆けにすべく、行政と住民が強く決意して、具体的に実行していきましょう。</p>
<p>・大変ですが、皆さんでよい地域・市をつくりあげるのによろしくお願いします。</p>
<p>・関心をもつためにアピール大作戦などをする。</p>
<p>・福祉社会は個人主義的教育を受けてきた、或いは受けつつある世代の人たちには難題だ。真の教育は国家百年の計のため必須。勝手な先生とわがままな生徒たちだけでは前途多難だ。他人に対する愛情と思いやりがその根本でしょう。しかし難しい問題だ。</p>

・旧国分寺・南河内・石橋と福祉の実施内容にはやや差があったと思います。旧3町の偏りをなくし、バランスのよい実施をお願いします。役所にこの間、お世話になりましたが、対応も親切で業務も迅速でした。よい印象です。